昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年8月15日発行（毎月1回15日発行通券第106号）

バドミントン界

日本バドミントン協会　The Badminton World No.106 1978



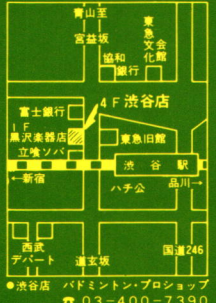
在庫日本一
池袋店へ
レッツGO!!



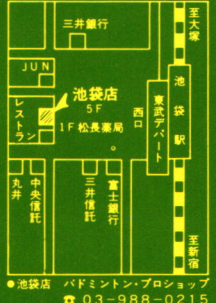
●年中無休

●営業時間　渋谷・池袋店
AM10：00～PM７：00
横浜店
AM10：00～PM８：00

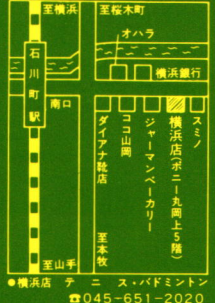
ラケットショップ元町



●渋谷店　バドミントン・プロショップ
☎ 03-400-7390



●池袋店　バドミントン・プロショップ
☎ 03-988-0215



●横浜店　テニス・バドミントン
☎045-651-2020

バドミントン界

❷
ハッシュマン夫人著・後藤忠弘訳
スターティング・バドミントン

❻
関西学生選手権
西川・逆転優勝、足立の善戦及ばず

❽
関西学生選手権
河村が初栄冠、四条畷が上位独占

❿
関東学生選手権
高橋、破壊力光る、〝本命〟長谷川腰を痛める

⓬
関東学生選手権
石田に勝利の女神、高岸も成長の跡

⓮
われらのクラブ
ＫＤＤ・バドミントン・クラブ

⓲
グラフ
白熱した全日本実業団から

㉕
寺田太郎・連載
「オイディプス王」

㉖
中国選手権
山陽女子、驚異の21連勝

㉘
ラケット・アンケート……㊤
一平さん、小織ちゃんはどんなラケット!?

㉚
海外トピックス
世界バドミントン連盟の設立

㉜
分析シリーズ
女子ダブルスの分析

㊲
協会からのお知らせ
公示

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ＝アサヒペンタックス MX、K2　SMC－P－M　50/1.4　SMC－P　200/2.5　300/4）／現像処理＝㈱クリエイトフォト・タカ◇今月の表紙＝第68回全英選手権シングルス優勝リム・スイ・キン（インドネシア）

これから始める人へ

スターティング・バドミントン

Starting Badminton
by Judy Hashman and C.M.Jones
Japanese language serial rights arranged
with Ward Lock Ltd., London
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

ジュディ・ハッシュマン、C·M·ジョーンズ共著
後藤忠弘訳、栂野尾昌一・悦子協力

1　ラケットを握る前に

はじめに——筆者紹介

すぐれたチャンピオンになるには、まず、その人特有の資質がモノをいう。これは、ほとんどの競技の世界で、実例が示しています。他方、その数はずっと少いにせよ、人並みすぐれた運動神経のおかげで、トップの座に到達する人もいます。そして、きわめて稀な例ではありますが、男女を問わず、この二つながらの条件に恵まれ、それぞれの競技の世界で、伝説的な存在とまであがめられた人もいます。

そうです。皆さんも、すぐに思い当たることでしょう。クリケット(注1)ならジャック・ホブス卿にドナルド・ブラドマン卿、サッカーのスタンリー・マンューズ卿、ゴルフのジャック・ニクラウス、庭球のドナルド・バッジにモーリン・コナリー嬢…などを。

さて、バドミントンの世界にも一人の、というよりは、たった一人だけ、これらと肩を並べる〝巨星〟がおります。その人こそ、ジュディ・ハッシュマン(注2)夫人です。彼女の父はJ・F・デブリンといい、これまた有名なバドミントン選手でした。

彼女は、父親譲りの運動神経と競技へのひたむきな努力を土台に、完全をめざして、いささかも妥協せず、この道を追求しました。その結果、彼女は十五年余の長きにわたって、世界の女王として君臨することができ(注3)その間、全英選手権で延べ17もの優勝をかち得ました。

彼女の比類のないバドミントンの知識は、バドミントンと庭球の公認指導者としての経験を通して磨き上げられました。彼女は、さらに、学校教師となり若い人々と一諸に仕事をすることによって、その経験をよりすばらしいものにしたのです。

ジミー・ジョーンズ(注4)は、元デビス・カップの代表選手で、雑誌「テニス」の編集者です。ウィンブルドン(注5)のスター選手を教えたこともあり、その輝かしいキャリアは国際的に有名です。彼が長年にわたって研究、開発したトレーニング法、コーチング法は、第一線選手の強化にすぐれた成果をあげています。彼の、これら庭球における〝ノー！ハウ〟は、バドミントンにもそのまま応用され、役立つことでしょう。

そういうわけで、この本は二人によって書かれることになりました。

(注1)クリケットは野球の元祖といわれる英国系スポーツ。従ってホップス卿、ブラドマン卿は英国人。マシューズ卿も同様。ニクラウス以下は米国人。

(注2)デブリン親娘、つまりハッシュマン夫人は米国人で、夫人はのち英国に移住、英国籍を得た。

(注3)17回優勝の内訳はシングルス10回、ダブルス7回で一九五四年から六七年まで。この記録は男女を通じての史上最高。

(注4)デビス・カップ、略称デ杯は一九〇〇年に始まった庭球の男子国別対抗。バドミントンのト杯、ユ杯は、これにならったとされている。

(注5)ウィンブルドンは庭球全英選手権開催地(ロンドン郊外)で、同大会の別称。庭球には個人の世界選手権はなく、この大会が非公式の世界一を決めるとされている。バドミントンの全英と同様の権威、伝統を持っている。



プレー中のハッシュマン夫人

バドミントンは、ネットを挟んで、ラケットを使い、シャトルコック（またはシャトルともいう）を打ち合う競技です。シャトルにはガット、あるいは人工繊維が張られています。

バドミントンはとっても楽しいスポーツです。初心者にとっても、ネット越しにシャトルを打つのは、それほどむずかしくないことがわかるので、たいていの人は、はじめから、その楽しさが病みつきになります。

最初からラリーを続けることも、多分、できるはずです。たとえ、ネットを挟んで、ごく近い距離からしか、シャトルのやりとりができず、打ち方も、まとも、というには、いささか遠いものであっても、です。水際立ったラケットさばき、コート全面を活用してのプレーは、やがて、時間が解決してくれるでしょう。

バドミントンは、学齢前から始めてもかまいませんし、ずっと年をとるまで続けることもできます。いわゆる室内競技ですから、お天気を心配する必要もありません。年齢を問わず、男と女とでチームを組み、混合ダブルスをやるのも楽しいものです。この混合ダブルスには、巧緻性、繊細さ、スピードの三要素が融合しており、まことに魅力的なゲームです。

男子でも、女子でも、それぞれが一対一で対戦するのがシングルスと呼ばれ、二人ずつ組んだのが、男子ダブルス、女子ダブルスです。ダブルスも競技会の種目として、盛んに行われています。

ラケットはとても軽く、普通140グラムから155グラムぐらいです。長さは約65センチです。ですから、幼児でもパパやママのラケットで遊ぶことができます。もちろん、大人並みに、ハンドルの部分を、ちゃんと握って振り回すわけにはいかないでしょうが。

ともあれ、イの一番にやらなければならないのは、ラケットを買うか、借りるかすることです。バドミントンは、とてもスピードのある競技ですから、持ちやすく、振りやすいラケットであることが大切です。

シャトルは重さが73グレインから85グレイン（4グラムから5グラム）で、直径約1インチ（25ミリ）の半球状コルクに14枚から16枚の羽根がきちんと植え込まれています。コルクには子ヤギのなめし皮を張りつけてあります。

羽根はフライトの進行につれて、シャトルのスピードにブレーキをかける役目を果たします。このスピードの変化が、バドミントンをきわめてユニークな競技に仕立て上げているのです。

自分でプレーを始めようとする前に、うまい人がやっているのを、よく見ましょう。クラブや近所での一流といわれている選手のプレーを研究しましょう。こういう人達の強さを、自分でも身につけるように努力しましょう。彼等の〝位置どり〟を勉強しましょう。

だんだん上達するようになっても、自分より上手な人のプレーは、つとめて見るようにし、他の人が使っているストロークや戦術も、がんばって自分でもやってみるようにしましょう。

しかし、あなたは、あくまでもあなたです。サル真似ではなく、あくまでも自分の個性を生かし、独自のプレーを創り出していく努力を、怠らないようにしなければなりません。

バドミントンは、いわゆるオーバーヘッド（頭上）のゲームです。ショットの9割までは、肩よりも高い打点で処理されます。それで〝投力〟に恵まれた人は、それだけ、他の人より有利な条件でプレーヤーとしてのスタートを切ることができるのです。

この〝力を入れて投げる〟ということを、具体的にわかりやすく説明してみましょう。

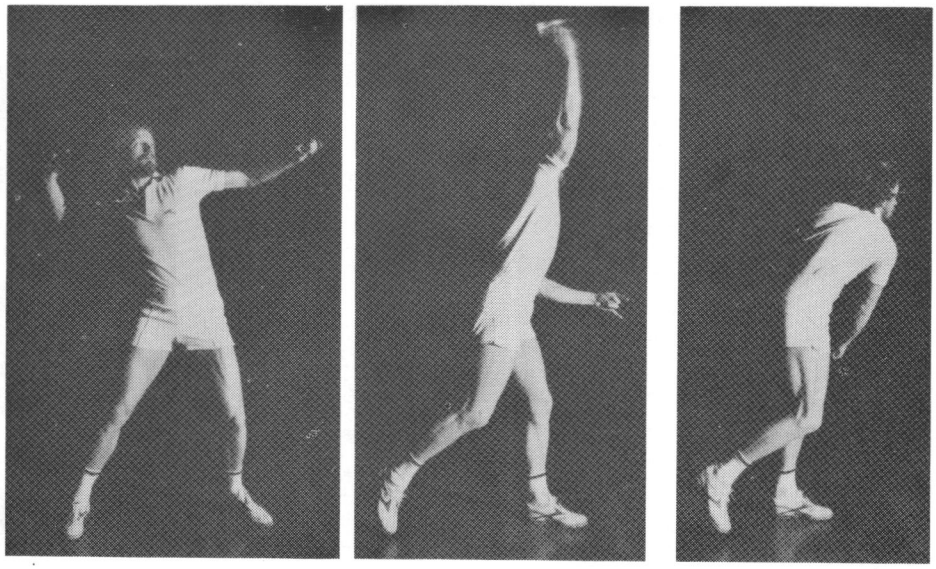
野球の投手の投球動作を思い出して下さい。**第1図**はその解説です。（ただし、ここではボールではなく、シャトルを持っています）。

一番左の写真（a）では、投げる人の左肩が目標の方向を指し、右の前腕はシャトルの飛んでいく（と想定される）線に沿って動き始めるところです。

写真（b）では、シャトルがいままさに、手から放たれようとしています。右腕は真っすぐ上に伸ばされ、上半身はピボットして、両肩と顔は目標に向いています。

両ヒザを軽く伸ばし、これによって、上半身を前方にぐいと押し出す動作に、プラス・アルファーの力を与えています。これらの動作は、左肩を後方に引きながら、左腕を振りおろし、左腰のわきを通り抜けるように動かす、一連の動作と呼応して行われます。

写真（c）は、投球が終わったところです。腕、上半身、ヒザのそれぞれの力が、連動して一つになり、投球に最大の力を与えるようすが、わかります。シャトルが放たれる瞬間、投球のためのパワーは、手首の強力な〝かえし〟によって、さらに補強されています。



第1図

バドミントン・コート[注7]の大きさは、ダブルス用がタテ44フィート（約13・4メートル）、ヨコ20フィート（約6・1メートル）で、シングルス用はヨコ幅が17フィート（約5・18メートル）となります。

コートはタテの真中で、ネットによって折半されています。ネットはコート両側の支柱の地点で、上辺の高さが5フィート1インチ（約1・52メートル）コート中央部で5フィート（約1・5メートル）です。

コート面は、**第2図**に示されたような、いくつかのラインによって区切られます。体育館の床面積などが限られていて、余裕のない場合は、図のXおよびYで示した線を除き、シングルス用コートだけで間に合わせることもできます。

床面から天井までの高さは28フィート（約8・5メートル）以下であってはなりません。コートの両脇と後方の〝空き〟については、競技規則上の定めはありませんが、3フィート（約90センチ）あればいいと考えなければならないでしょう。

ラインは、コートのそれぞれの区域の限界を意味しています。シャトルが地面に落ちた場合、それがラインには、完全に触れていない、と認められるものだけが「アウト」です。はしっこのほんの少しだけでも、ラインの一部に触れていれば「イン」と判定され、それを、そのまま見送った側の失点となります。

ラリーに勝っても、実際に得点できるのは、サービスを持っている方だけです。

シングルス競技の場合、サーバーAが負けると、スコアは変わらず、サービス権が相手のBさんに移ります。今度はBに得点の機会が与えられました。しかし、今度、Bがラリーに負ければ、サービス権は再度、Aさんに戻るのです。

初めての人にとって、バドミントンのスコアの取り方は、ちょっと複雑な感じでしょうから当面は、そんなことにあまり気を使わなくて結構。まずはプレー技術の向上に専心するようにつとめましょう。得点法の競技規則は、本当の巻末に、付録として紹介します。

試合を始める前に、プレーヤーは、通常ラケットをひねってトスを行います。トスに勝った側は、次の三つの場合のどれかを選ぶことができます。

①先にサーブする——この場合、相手側は第1ゲームでどちら側のコート（正しくはエンドという）に入るかを決める権利を生ずる。

②先にサーブしない——この場合は、相手が先にサーブをやるばかりでなく、エンドを選ぶことができる。

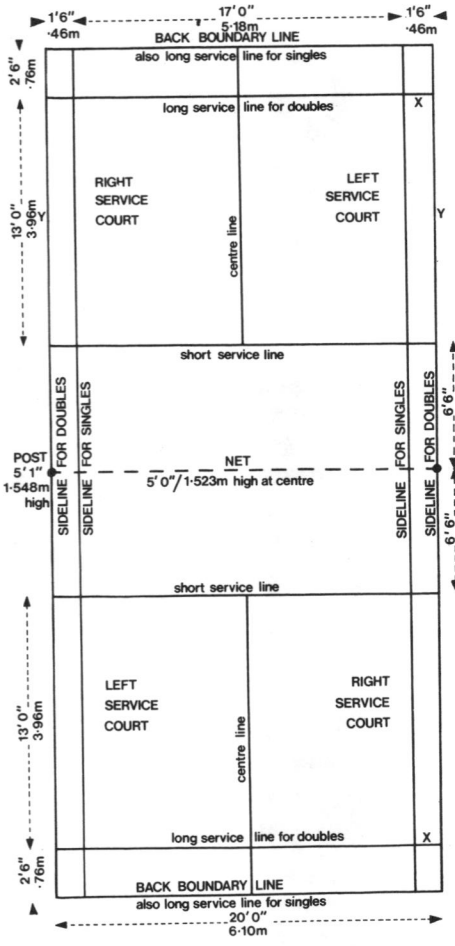
③エンドを選ぶ——この場合は相手がサービス、レシーブどちらのサイドでも選ぶことができる。

試合で第1、第2ゲームが終了すると、双方はエンドを入れ替わります。試合は通常でベスト・オブ・スリー・ゲームス（3ゲーム中の絶対多数、つまり2ゲーム先取で勝ち）で争われます。で、最終ゲームにまで勝負がもつれ込んだ場合は、このゲームで一方が先に過半数の得点（1ゲーム15点なら8点）に達した直後、再びエンドを交替します。

各ゲームとも、サーバーが右側サービス・コートから相手の右側コートにサービスを出し、プレーが始まります。サーバーが勝って1点を得ると、サーバーは今度は左側サービス・コートから相手の左側コートにサービスを入れ、順次、同じことを繰り返します。

サーバーがラリーに負け、サーブ権が相手に移ると、相手もまず右側サービス・コートからこちらの右側コートにサービスを出し、ラリーが再開されます。それで、サーバーの得点が偶数の時は、サーバーは右側コートから、奇数の時は左側コートからサーブしている勘定になります。

サービスのときは、サーバーのラケットにシャトルが当たる



第2図

までは、サーバーもレシーバーも、それぞれ定められたコート内に位置していなくてはなりません。サービスは腰より下で打たれなければならず、また、サーバーのラケットの打面は、ラケットを握っている手よりも低くなければなりません。

サービスにさいしては、実際に打つ前に、そのモーションなどで、相手をだましたり、惑わせたりすることは禁じられています。もちろん、シャトルを打つテクニックが非常にうまいため、相手が結果的にひっかかった時は別です。

サービス打球が相手が触れないまま、レシーブ側のサービス・コート外に落ちた場合は「フォルト」で、サービス権が相手に移行します。

さあ、これだけわかれば、当座は十分です。コートに出て、プレーを始めましょう。

〈本章の要点を確認するための練習〉

中古で結構ですから、庭球のボールを何個かを用意し、ちょっとした空地、またはテニス・コートに出ます。そこで、できるだけ遠くへボールを投げてみましょう。その場合、第1図に出て来た説明を思い出し、そのようにやってみることです。

次に、買っても、借りてもいいから、シャトルを手に入れ、バドミントン・コートに出て、ショートサービス・ラインからネット越しにシャトルをほうってみます。うまく出来なかったら、少し前からやってもよろしい。強くて、遠くまで投げられた人は、もっとうしろからやっても結構です。

本章で述べたように、上半身ヒザ、腕、それに手首の力をつないで、一つの力の流れになるように、パワーを引き出し、高める努力を心掛けて下さい。

練習相手の方へのお願い

あなたの相手が球を投げるとき、腕の動きに十分、注意を払ってやって下さい。利き腕をいったん背中の方に引き、投球動作に入る時、その腕が地面と平行になるように、確かめて下さい。

両者と左腕が最初、投げる方向を指し、それからピボットによって、球を手から放す瞬間、体が正面を向くかどうか、注意しましょう。

ヒザが最初は曲げられており次に、投球動作に余計に力を与えるため、いわばスナップをきかして、真っすぐ伸びるかどうかを見てやって下さい。

手首も腕も、投球動作のはじめは、力を抜いて楽な感じにしているかどうか、チェックして下さい。球を放す瞬間に、鋭く手首と腕を〝かえす〟には、事前に力を入れていてはいけません。

第1章の注

(注1) バドミントンの羽根球を、なぜシャトルコック(shuttlecock)と呼ぶかは明らかでない。しかし、シャトル(shuttle)には折り返し(往復)の連続という意味がある。たとえば、選手宿舎と競技場往復バスを〝シャトル・サービス〟などと称するので、多分、羽根球が忙しく往き来するさまからの連想で名付けられたものであろう。

(注2) ラケット打面に張った糸を、なんでもガット(gut)と呼ばのは誤り。ガットは動物の腸で作ったもの。張り糸一般のことはストリングス(strings)=弦、糸=という。

(注3) ラリー(raiiy)は、サービスが打たれてから、どちらかの失点(またはサービス権の移動)が生じるまでの、一連の打球の往復運動のこと。

(注4) 現在ではさらに軽くなっており、日本の場合、ウッドフレームで120グラム前後、スチールフレームで110グラム前後のものが、もっとも使われている。

(注5) グレイン(grain)は計算の最小単位で、1グレインは0・064グラム。

(注6) フライト(flight)=飛行く。ここでは羽根球が飛んでいくこと、その状態、飛んでえがき出す空間の曲線。

(注7) バドミントン・コートはフィート、インチで計尺されており、メートル法に直す場合、実際にはミリの単位で計算されている。日本バドミントン協会の規則書参照。

〈なお注はすべて訳者・協力者による注である〉

男子単

西川、逆転優勝

足立の善戦及ばず

関西学生バドミントン選手権大会

6月14日に開会された第28回関西学生バドミントン選手権大会は、白熱のうちにベスト4が出揃い、27日、大阪市東淀川体育館で準決勝、決勝戦が行なわれた。

男子学生においては、関東優位の状態が久しく続いているが、今大会を見ても上位選手の体格は小柄で、その破壊力の不足はとくにダブルスに顕著にうかがわれた。

一方、女子は昨年の植野恵美子に代わり、インターハイで活躍した河村茂美、平久美子が登場、四条畷短大が相変らず圧倒的な強さを見せ、上位進出を目指す他校の選手に厚い壁となった。

▽**男子シングルス準々決勝**

田島（大経大） 2—0 木下（近畿大）

西川（近畿大） 2—0 塚本（同志社）

増田（近畿大） 2—0 白井（大経大）

足立（近畿大） 2—0 嘉生（奈良教）

▽**同準決勝**

西川 2（15—11, 15—13, 8—15）1 田島

足立 2（15—11, 15—11）0 増田

▽**同3位決定戦**

田島 2（15—4, 13—15, 18—17）1 増田

▽**同決勝**

西川 2（15—11, 15—6, 10—15）1 足立

▽**同ダブルス準々決勝**

上田・西川（近畿大） 2—1 奥田・鈴木（立命館）

塚本・諸多（同志社） 2—0 足立・吉兼（近畿大）

増田・西堀（近畿大） 2—1 中村・藤堂（京産大）

田島・岡田（大経大） 2—0 巽・浜本（近畿大）

▽**同準決勝**

上田・西川 2（15—5, 6—15, 15—9）1 塚本・諸多

増田・西堀 2（15—1, 15—8）0 田島・岡田

▽**同3位決定戦**

塚本・諸多 2（15—10, 15—11）0 田島・岡田

▽**同決勝**

増田・西堀 2（18—15, 15—5）0 上田・西川

〈シングルス〉

今大会の話題は、1年生・嘉生の活躍。小柄ながら持ち前の〝ガッツ〟でシャトルに食らいつき、第3シードの中村（京都産業大）、さらに諸多（同志社）をストレートで破り、ベスト8に進出した。

昨年の新人戦に活躍した西堀（近畿大）、山本（大阪経済大）、諸多の2年生組は、期待に反して早々と敗退。トーナメントを勝ち抜くだけの体力と気力がまだまだか。

また、白井（大阪経済大）が強力なリストを生かして、ベスト8入りを果たしたのが印象的だった。

〈田島VS西川〉

田島は立ち上がりからスマッシュを連打。守勢一方の西川につけ入るスキを与えず、第1ゲームを先取。

第2ゲームになって、ようやくエンジンのかかり出した西川は、相手を攻撃を丁寧にリターン、チャンスボールを待って確実にポイントを重ね、勝負をフ



西川（近大）

男子複

増田・西堀、粘り抜く 上田・西川迫力欠く

関西学生バドミントン選手権大会

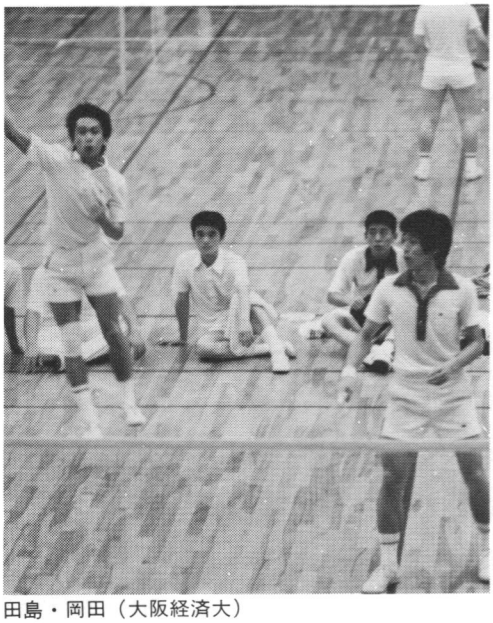
アイナルへと持ち込んだ。

田島は、第2ゲームを落とした焦りと疲労から、ミスが目立ち、西川が終始リードしたままマッチポイントを握り、終盤の田島の猛反撃もおよばず、逃げ切りに成功した。

〈足立VS増田〉

近畿大学4年生同士の対戦は、増田の長身からの深いクリアーと切れ味鋭いカットの多用で、何時ながらの余裕ある試合運びを見せたが、足立は積極的なスマッシュ攻撃に転じ、劣勢を見事に挽回した。

勢いに乗った足立と、苦境に立つ増田は、第2ゲームになると一方的な展開を繰り広げ、足立は優勝候補の筆頭であった増田を降し、決勝へ駒を進めた。



田島・岡田（大阪経済大）

〈西川VS足立〉

ダブルスの疲れが残る西川に対し、波に乗る足立は果敢に攻撃して第1ゲームを先取。

しかし、ここで足立にも疲れが見え始め、第2ゲームは捨てる格好となり、試合はファイナルへ。

足立は、先輩の意地と、学生最後のチャンスに奮起したのか、好調に10―2とリードしたが、西川も途中からの大腿部ケイレン気味の足を引きずって11オールとし、長いラリーの末の足立のアタックを、倒れながら切り返すファインプレーを見せ、結局このポイントが大きく勝敗を左右して、死闘に終止符を打った。

〈ダブルス〉

ベスト4の中には、インターハイで活躍した選手もおり、素質は十分なのであるが、器用さに頼り、小さくまとまってしまった感があった。

やはりダブルスは、スマッシュを基本として徹底的に攻めまくる形が望ましい。

今大会では、特筆すべき若手ダブルスの台頭がなく、寂しい限りである。

〈田島・岡田VS増田・西堀〉

スタートの田島・岡田には、優勝を狙う意欲が十分にうかがわれたが、決め球に欠ける弱点が暴露すると同時に、コンビネーションも狂い出し、盛り上がりを欠く試合となった。

それに対して増田・西堀は、西堀がスマッシュにレシーブにと良く動き、さらに増田のネット前での処理が冴えて、一方的な内容となった。

〈塚本・諸多VS上田・西川〉

センス抜群の塚本・諸多に対し、上田・西川はスピード関西ナンバー1。試合開始からスピーディなラリーが展開された。

タッチの速さで上田・西川が上回り、第1ゲームを先取したが、塚本・諸多も巧みな返球と切り返して徐々に攻撃に転じ、ファイナルゲームへもつれ込んだ。

ファイナルになると、上田の角度のあるスマッシュに、塚本・諸多のレシーブが乱れ、時折り散慢なプレーも目につき、終始攻勢の上田・西川が押し切った。

〈上田・西川VS増田・西堀〉

疲れの見える上田・西川に対し、増田・西堀は経験の浅い西堀を増田が上手くリードして、楽に第1ゲームを奪い、第2ゲームも5―10の劣勢を逆転して初優勝を飾った。

無理をせず徹底してレシーブ体制をとり、相手を揺さぶる作戦が勝因か。

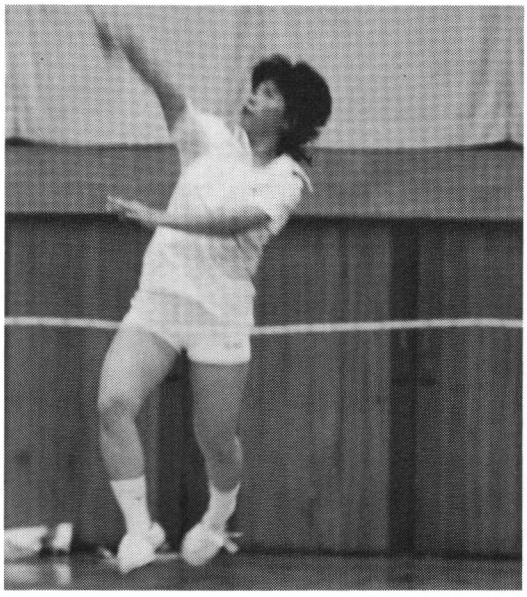
上田・西川は、セッティングになっても工夫が見られず、単調な攻撃を繰り返すだけとは、非常に残念である。

女子単

河村が初栄冠

四条畷が上位独占

関西学生バドミントン選手権大会



河村（四条畷短）

▽女子シングルス準々決勝

石川（四条畷）2—0 小山（樟蔭女）
平（四条畷）2—0 阿部（天理大）
前川（四条畷）2—0 網家（武庫女）
河村（四条畷）2—0 寺坂（四条畷）

▽同準決勝

平 2（11—9 11—8）0 石川
河村 2（11—8 11—5）0 前川

▽同3位決定戦

前川 2（11—5 0—11 12—11）1 石川

▽同決勝

河村 2（11—4 11—3）0 平

▽同ダブルス準々決勝

寺坂・楠田（四条畷）2—0 長谷川簗田（大教大）
阿部・吉川（天理大）2—0 北井・吉竹（甲南大）
河村・平（四条畷）2—0 笹川・林（大阪市）
橋元・渡辺（同志社）2—0 小山・中西（樟蔭女）

▽同準決勝

寺坂楠田 2（15—11 15—8 13—15）1 阿部吉川
河村平 2（15—2 15—6）0 橋元渡辺

▽同3位決定戦

阿部吉川 2（15—7 15—11）0 橋元渡辺

▽同決勝

河村平 2（15—2 15—7）0 寺坂楠田

〈シングルス〉

当分、四条畷の上位独占が続きそうな関西女子であるが、その中で楠田（四条畷）をファイナルの末破った阿部（天理大）の活躍は、1年生でもあり特筆に値する。

リーグ戦で健闘の長谷川（大阪教育大）は、平（四条畷）に上位進出を阻まれたが、若手の網家（武庫川女大）、吉竹（甲南大）、山中（大阪体育大）等が着実に成長しており、9月に行なわれる新人戦が楽しみである。

〈石川VS平〉

最近体調を崩し不調の石川は、スタートこそまずまずであった



平（四条畷短）

女子複

河村・平の圧勝

関西学生バドミントン選手権大会

1年生の活躍光る

が、平の余裕あるプレーにあっさり逆転を許し、苦しい立ち上がり。

第2ゲームも、緊迫したラリーの応酬から、いったんは石川が8―2とリードしたが、力強い平のスマッシュに押されてまた逆転を許してしまった。

〈前川VS河村〉

パワーとスピードに勝る河村が、終始前川を圧倒。

第2ゲームになると、前川も猛烈に反撃して、7―2とリードしたが、ここまで。

焦りの見られない河村は、スマッシュからの前へのダッシュが素晴らしく、一挙に挽回して形勢を逆転した。

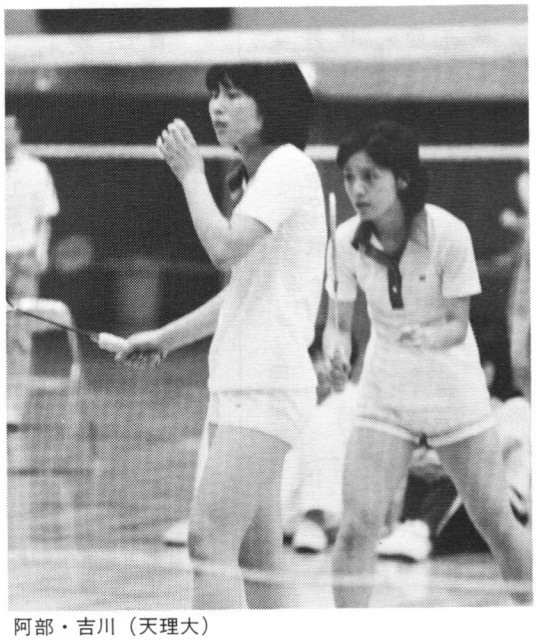
前川もよく健闘したが、やはり実力で河村が一枚上か。

〈河村VS平〉

ほぼ予想通りの実力者同士の対戦。

第1ゲームは、一方的なスコアで河村が奪取したが、第2ゲームになると平も奮起、白熱したラリーとサービスオーバーが繰り返された。

しかし、要所を締める河村は、ネット前の速さと配球の良さで平にポイントを与えず、安定した力を発揮してタイトルを手中に収めた。



阿部・吉川（天理大）

〈ダブルス〉

やはり四条畷と他校の実力差は大きい。

長谷川・簗田（大阪教育大）、網家・古田（武庫川女）、山中・森（大阪教育大）は、今大会期待されたペアであったが、レシーブ力とタッチの速さ、そして配球の面でまだまだであるし、四条畷に対し、気遅れして自分からミスを重ねるという感じがした。1・2年生には素質のある選手が多く、これらの選手が確実に成長してくれば、関西の大会も一層盛り上がるのだが。

〈寺坂・楠田VS阿部・吉川〉

実力的にほぼ互角の両ペア。立ち上がり寺坂・楠田のコンビネーションが乱れ、ドロップを2人で見送るシーンもしばしば。

これに対して阿部・吉川は生き生きと動き、要所での阿部のスマッシュが良く決まり、第1ゲームをものにした。

しかし集中力に欠いて第2ゲームをあっさりと失い、ファイナルゲームも7―0とリードしながら、じっくりと腰を構えた寺坂・楠田に逆転されてしまった。

大量のリードを許しながら、落ち着いた寺坂のドロップショット、楠田のスマッシュはさすがであった。

〈河村・平VS橋元・渡辺〉

インターハイの優勝ペア、河村・平の強さを、まざまざと見せつけた試合だった。

渡辺をリードする橋元も、良いスマッシュを持ってはいるが、この強力コンビの前にはなす術がなかった。

それにしても橋元・渡辺は、いま一歩の粘りと工夫をして欲しかった。

〈寺坂・楠田VS河村・平〉

シングルスと同様、四条畷同士の対戦となったが、実力通り河村・平が圧勝した。

この日、寺坂・楠田は、前への動きが悪く、守勢一方のまま反撃のチャンスすらつかめなかった。

逆に河村・平は、楠田のスマッシュ、寺坂のドロップを苦もなくさばき、第1ゲームこそ競る場合もあったが、余裕十分で難なくダブルスの王座についた。

関東学生バドミントン選手権大会

男子単 高橋、破壊力光る

"本命"長谷川腰を痛める

昭和53年度関東学生バドミントン選手権大会は、6月8日から24日まで、延べ15日間にわたって、駒沢体育館をはじめ7会場で、連日熱戦が繰り広げられた。

男子は、シングルスで2年連続インカレ優勝の長谷川(中大)が。高橋(日大)に敗れるという大波乱が起こり、長谷川一辺倒だった男子学生界には異変ともいうべき結果となった。

長谷川は、ダブルス4回戦で腰を痛めたため、完調にはほど遠い苦しい戦いであったが、まだ前人未踏のインカレ3連覇への記録が残されており、早く腰を完治させて復帰してもらいたい。

優勝した高橋は、リーグ戦での不調を補って余りある素晴らしい速攻を見せ、シングルスでも大躍進を遂げた。

また、ダブルスは中大勢が上位を占め、ダブルスの名門・法大勢の不振はふ甲斐ないといえよう。

▽男子シングルス準々決勝

長谷川(中央) 2—1 水内(早大)
高橋(日大) 2—1 小山(関東学)
坂本(日大) 2—0 宮森(法大)
管(中大) 2—0 亀谷(早大)

▽同準決勝

高橋2 (15—3, 15—7) 0 管
管2 (15—6, 17—18, 15—12) 1 坂本
高橋2 (15—11, 9—15, 15—11) 1 長谷川

▽同ダブルス準々決勝

長谷川・西山(中大) 2—1 滝川・上原(中大)
富田・酒井(法大) 2—0 水内・平野(早大)
沼沢・浅沼(日体) 2—0 宮森・峰(法大)
管・米山(中大) 2—1 森・大石(日体)

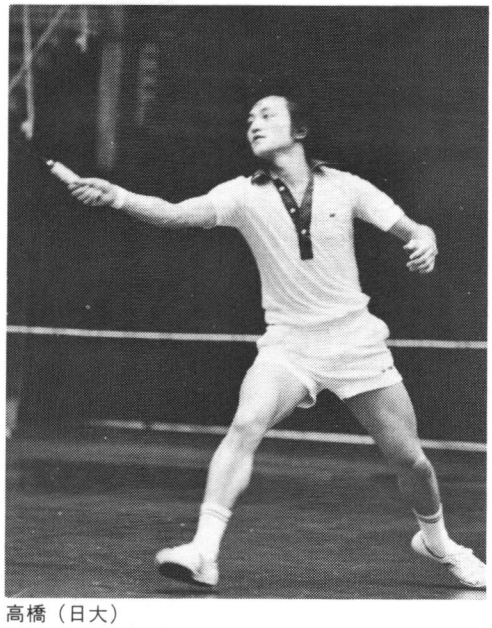
▽同準決勝

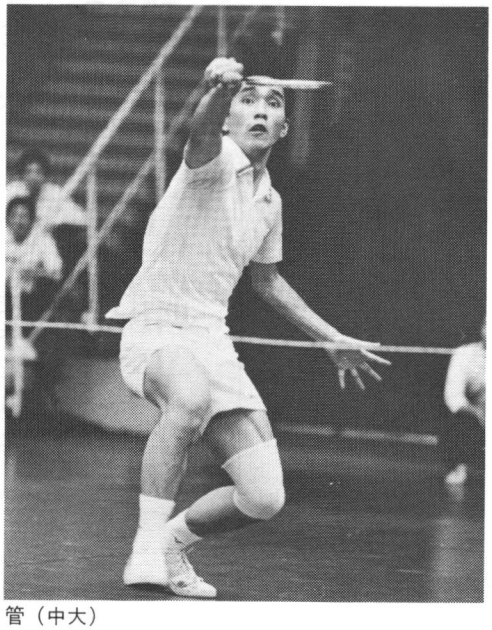
長谷川・西山2 (15—11, 15—10) 0 富田・酒井
管・米山2 (15—8, 15—7) 0 浅沼・沼沢
管・米山2 (15—12, 11—15, 15—11) 1 長谷川・西山

▽同決勝

長谷川・西山2 (15—11, 15—10) 0 管・米山2

〈シングルス〉


高橋(日大)


管(中大)

男子複

管・米山、気力満点

中大同士の決勝戦

関東学生バドミントン選手権大会

まず第一に、本命・長谷川の敗因を探らなければならないが、これは一にも二にも、ダブルスでの対小倉・小浜（青学大）戦のアクシデント。腰を捻ること自体に、トレーニング不足あるいは打ち込み不足かといったうがった見方もあるが、ここは素直に不慮の事故として受けとめるべきだろう。

単に学生界のリーダーとしてではなく、近い将来の日本を代表するプレーヤーとして、身体の手入れを怠らないよう、一つの経験として欲しい。

ベスト8入りを果たしたリーグ戦・1部校の選手に混って、2部の関東学院大から小山が進出したことは、立派の一語に尽きよう。8入りで米山（中大）を降し、高橋にも健闘。持っている体力を出し切るようになれば、これからもシングルスでは目が離せなくなりそうだ。

注目された昨年のインターハイ三冠王・西山（中大）は、8入りを賭けて先輩・管に挑んだが、第2ゲームを取るのが精一杯だった。しかし、そのスマッシュ力は非凡。久びさに現われた、スマッシュを武器の大型新人に間違いない。

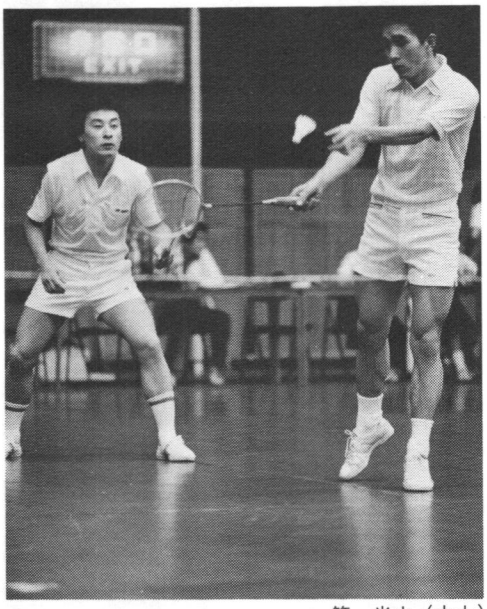
〈高橋VS管〉

長谷川を倒した高橋が、得意の速いカット、角度のあるスマッシュをピタリと決めて、充実した内容を示した。

今大会で見る限り、攻撃型プレーヤーにありがちな〝モロさ〟も見られず、スマッシュをフォーローする動きも抜群に速く、絶好調を絵に描いたような出来栄えだった。

管も、決勝までの試合では持ち味を十分に発揮した粘りを見せたが、決勝では、自校の期待を一身に背負って固くなったような試合ぶりだった。

のびのびした動きの高橋は、ボディーへ、サイドラインいっぱいへ面白いようにスマッシュを決め、焦る管は、カットミスが多くなり、試合半ばで明暗がはっきりと分かれてしまった。



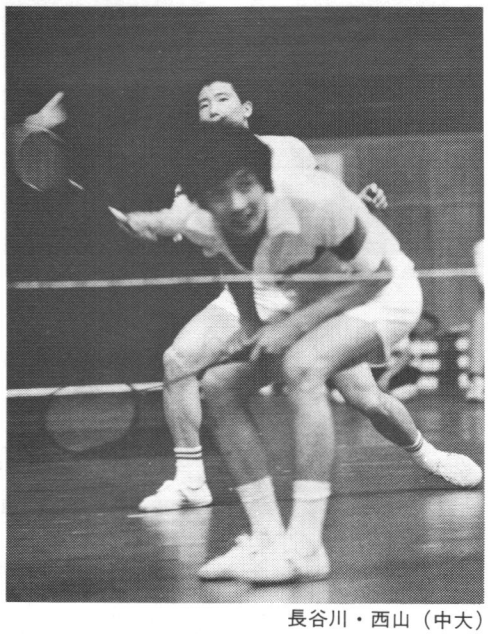
管・米山（中大）

〈ダブルス〉

〈管・米山VS長谷川・西山〉

若い西山の甘さを突いた、管・米山の辛勝。

長谷川は腰痛にもかかわらず、上手く西山をリードしたが、管・米山の勝負へ対する気迫はこれを上回り、要所要所のツボを心得えたプレーは、さすがに4年生ペアというところか。



長谷川・西山（中大）

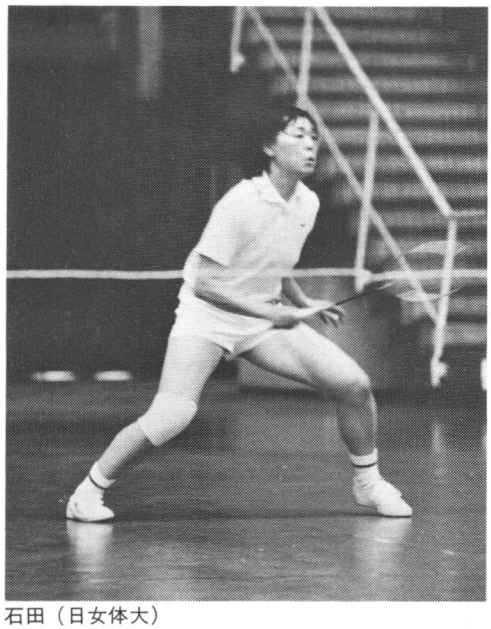
関東学生バドミントン選手権大会

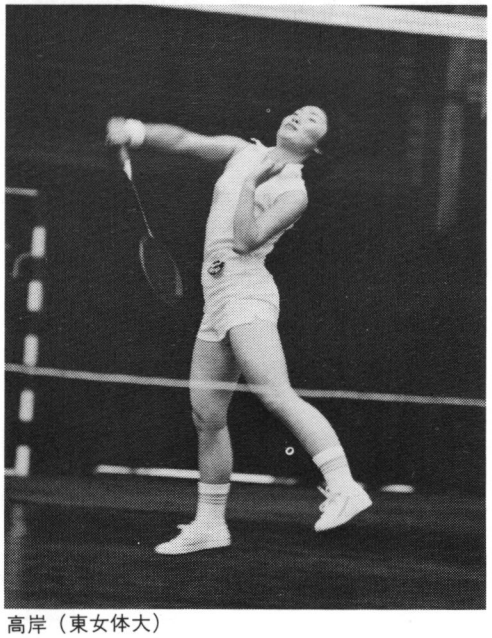
女子単 石田に勝利の女神 高岸も成長の跡

女子は、関根、大塚をはじめ学生界をリードする主力選手が4年生のため、教育実習期間と重なり不参加。やや盛り上がりに欠ける内容となったが、それだけに上位進出者には新しい顔ぶれが多く、今後を占う意味で魅力ある大会となった。

シングルス決勝へ進出した石田(日女体)、高岸(東女体)はともに3年生。年々着実に実力をつけており、この好成績をステップにさらに飛躍が期待される。

ダブルス決勝を争ったのは、ともに1・2年コンビ。まだまだ荒けずりな未完成ペアだが、可能性を秘めた存在として今後が楽しみである。


石田(日女体大)


高岸(東女体大)

▽女子シングルス準々決勝

石田(日女体) 2—0 内田(日女体)
原田(日女体) 2—0 皆川(東女体)
高岸(東女体) 2—1 藤井(日体大)
渡辺(日女体) 2—0 鹿野(日体大)

▽同準決勝

石田 2 (11—1, 11—4) 0 原田
高岸 2 (11—6, 11—4, 6—11) 1 渡辺

▽同決勝

石田 2 (11—5, 11—10) 0 高岸

▽同ダブルス準々決勝

青木・内田(日女体) 2—0 塚本・皆川(東女体)
藤井・松枝(日体大) 2—0 小松・西村(東女体)
渡辺・石田(日女体) 2—0 山沢・馬渕(日体大)
柴田・川島(東女体) 2—0 高岸・土田(東女体)

▽同準決勝

藤井・松枝 2 (15—6, 15—7, 12—15) 1 青木・内田
柴田・川島 2 (18—17, 15—1) 0 渡辺・石田

▽同決勝

藤井・松枝 2 (15—9, 15—7) 0 柴田・川島

〈シングルス〉

関根・大塚の欠場の穴を埋めたのは、皮肉にもライバル校・日女体大勢。ベスト4へ、石田、原口、渡辺の3人が顔を出し、層の厚さを見せた。

その中にただ1人ベスト4へ食い込んだ高岸(東女体大)は、

女子複

藤井・松枝、混戦に断 柴田・川島が準優勝

――関東学生バドミントン選手権大会――

4回戦、準々、準決といずれもファイナルゲームの逆転勝ちを収め、精神的な成長をうかがわせた。

これに反して、日体大勢はシングルスに不振。好素質の選手は多くいるはずであるが、いったいどうしたことか、雪辱してもらいたいものだ。

〈石田VS高岸〉

前半は一方的な高岸のペースとなり、10―4とゲームポイントまで握ったが、次第に調子を上げた石田がジリジリと挽回、浮き足だつ高岸をとらえて逆転に成功した。

第2ゲームは、逆に石田が9―1と大きくリードし、高岸が追いかける格好となったが、5―9までがやっと、丁寧な配球の石田が初優勝を飾った。

石田は、小柄な身体をいっぱいに使って、よく拾い、よく走り、混戦を切り抜けた。

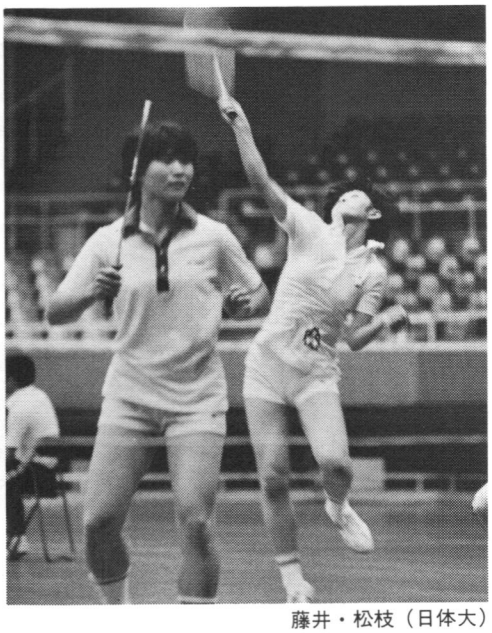
〈ダブルス〉

シングルスに輪をかけたような戦国模様を呈した。

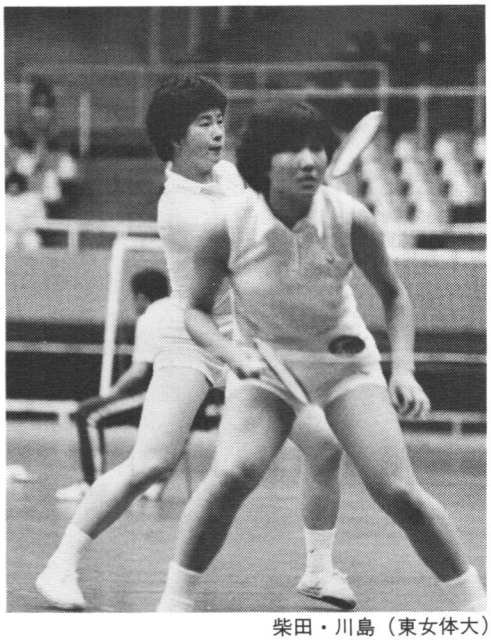
第1シードの徳永・枝（日体大）が棄権したほか、8シードの中からベスト4へ残ったペアは、優勝した藤井・松枝だけというありさま。

期待された渡辺・石田は、柴田・川島にあっけなくストレート負けを喫し、いま一息のコンビネーション。

ベスト8には、予想以上の活躍をした東女体大が、4ペアも進出して大いに気を吐き、第3勢力の位置から、さらに上位を狙おうとする勢いが感じられた。日体大、日女体大の〝2強時代〟から、東女体大を交えた〝3強時代〟への突入は間近か。



藤井・松枝（日体大）



柴田・川島（東女体大）

〈藤井・松枝VS柴田・川島〉

柴田・川島は、リーグ戦での活躍が自信となったのか、渡辺・石田を破っての決勝進出は、賞讃に値する健闘だった。今後、川島のスマッシュ力を生かす型を築けば、強力なコンビとなろう。

しかし、決勝戦ではコンビネーションが噛み合わず、ちぐはぐな動きとなって自滅、安定した力はまだまだのようだ。

優勝ペアの藤井・松枝は、準決勝でファイナルゲームを戦ったほかは、実にあぶなげない勝ち方を示し、藤井のラケットさばきと、松枝の力強いスマッシュが上手く溶け合って、ペアとしてのまとまりが優勝に結び付いたとえよう。

われらのクラブ⑬

KDD・バドミントン・クラブ

花も恥じらう適齢期、まずは〝可愛さ〟で勝負



練習前は入念なランニング

東京・西新宿にそびえ立つ6本の高層ビル。その中でもひときは目立つ太目の、いわば働く人を象徴するかのようなビルが、私たちのKDD（国際電信電話株式会社）なのです。

最初は少人数で発足したわがクラブも、何時の間にか26名と格好がつき、先日東京で開催された全日本実業団には、男女とも出場できるまでになり、数多いわが社のサークルの中でも、対外的に活動している希少なクラブの一つです。

部員26名のクラブへ入った動機はさまざまで、バドミントンの持つ意地悪い（？）本性を知らず、優雅なイメージにつられて入部した初心者もいれば、「美容と健康のためヨ」と割り切る人もいます。また、学生時代に果たし得なかった夢を、社会人で花咲かせようとはかない望みを抱いて入る者もいます。

ある者などは、何かきっかけを見つけては有名になろうというあさましい根性の持ち主で、試合と名のつくものにはかならず顔を出しているようですが、いっこうに効果は現われていないようです。今回のこの「われらのクラブ」に掲載されるとあって、写真を撮る日にはバッチリお化粧を施してくると、異様に興奮する者もいる始末です。

このように、それぞれの個性に合った自由な発想で、自分自身のバドミントンを楽しむことができるのが、わがクラブの最大の長所なのです。

練習は毎週土曜日、都心から離れた埼玉県上福岡市にある社の体育館で行ないます。施設が整っていること、4面のコートが一日中使えるということは、かなり恵まれた条件といって良いでしょう。

しかし、この体育館を訪れた人は、きまって皆さん驚きの声を上げます。明かるいクリーム色のカーテンを透して、太陽の光が目を奪うのです。当然、相手のスマッシュはたちまち視界から消え、手元にきて突如姿を現わすのです。何を隠そう、これがわがクラブ秘

密の特訓なのです。これで私たちは、バドミントンに不可欠の勘を養い、初めてわが体育館を訪れる人に勝つことができるのです。

一度この体育館で、リーグ戦など公式試合を行なって欲しいと、全員切実に考えているのですが……。

週に1度の練習も、昼夜を問わない国際電信電話という職業柄、全員が揃うことは難かしく、ついつい寂しい練習になってしまいますが、最近は部外からの参加もあり活気を与えてくれます。

社会人としてバドミントンを続ける多数の人たちの共通の悩みは、学生と違って練習時間を作ることの難かしさでしょう。週に1度の練習では物足りず、連休を利用して合宿をしたり、仕事が終わってから母校の練習に顔を出したり、区の練習に参加したりして頑張っています。

目下の目標は、間近に迫った東京都・リーグ戦。男子は3部、女子は1部、それぞれ良い成績を収めようと練習にも熱が入ります。とくに私たち女性部員は、上位のチームに腕前ではかなわなくとも〝可愛さ〟ではと一致団結、花も恥じらう適齢期、お嫁にも行かず奮戦しているのです。

一つ肝心なことを忘れていました。監督の松浪鋭四郎さんのことです。年齢はともかくとして、その若々しさはわれわれの及ぶところではありません。自ら現役としてラケットを握り、鬼のコーチとして定評があります。万年青年とでも形容したいような二枚目的風貌（？）にひかれて入部してくる女性も少なくありません。監督という肩書だけではなく名実ともにわがクラブの〝監督〟なのです。

男子部員のことを書く前に誌面が尽きてしまったようです。（ゴメンナサイ）。では皆さん国際電話をかけましょう。



目下売り出し中の美男美女



練習を終えてロビーで一服

ファッショナブル・スポーツ——バドミントン。

厳選された豊富さでお応えいたします。 BADMINTON

ファッション性とスポーツ性——この2つをより合わせ持つファッショナブル・スポーツーバドミントンの感覚を肌で感じにいらっしゃいませんか——！

色あざやかにそして機能性も豊かなウェアやバッグなど——バドミントンのすべてが常にフレッシュな状態でスタンバイ。

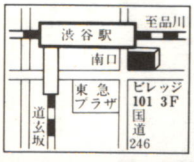
日本最大の専門店 **ウインザー ラケットショップ。**

毎月曜日定休・祝祭日を除く

渋谷店

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3階) TEL03-464-9251~2 〒150

●営業時間／午前10時～午後7時30分





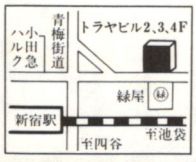


毎月曜日定休・祝祭日を除く

新宿店

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2,3,4階線屋前) TEL03-363-6848 〒160

●●●営業時間／午前10時～午後7時





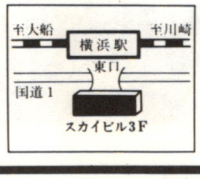


年中無休

横浜店

横浜市西区高島町2－1　横浜駅東口(スカイビル3階) TEL045-461-1785〒220

●●●営業時間／午前10時～午後8時



WINDSOR RACKET SHOP

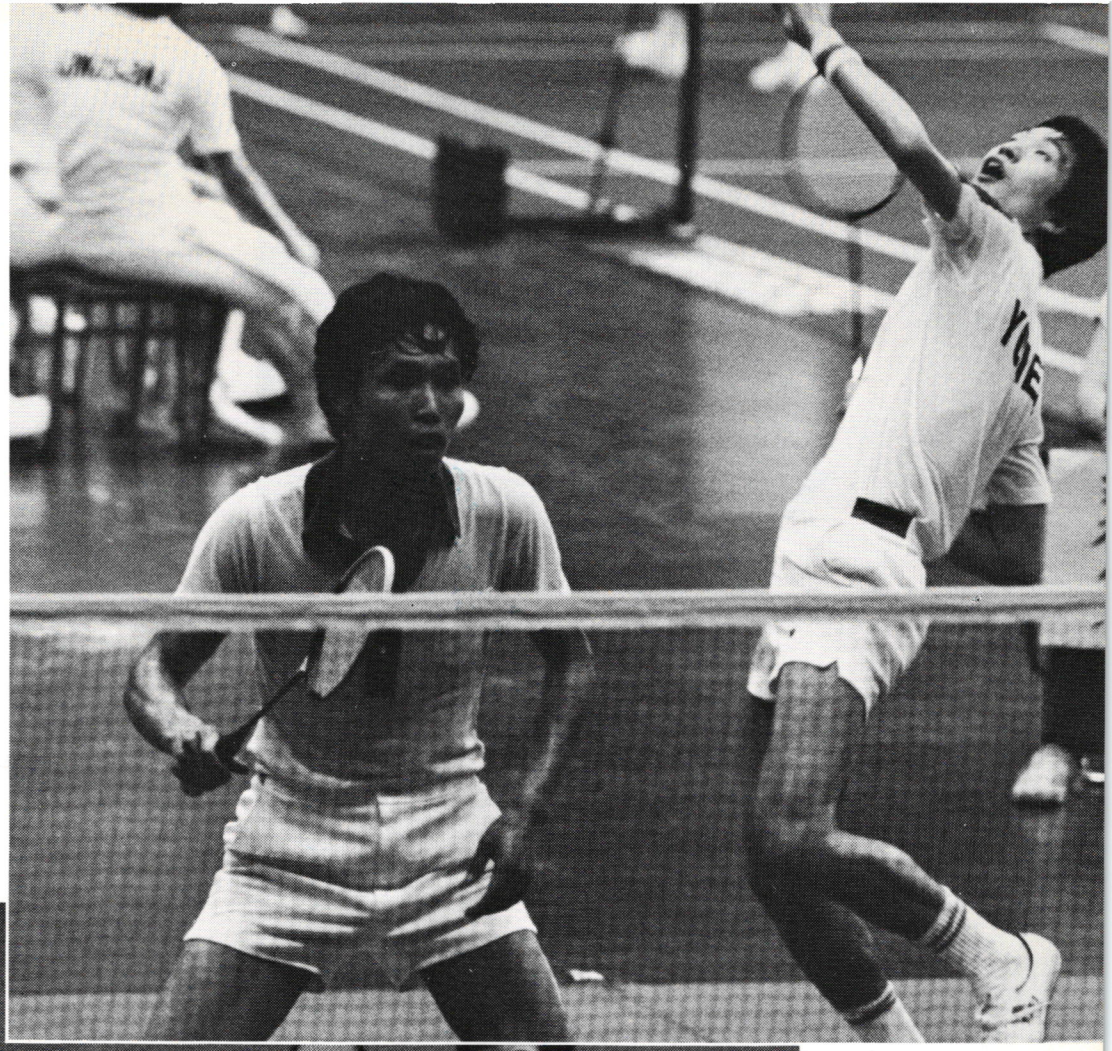


着るもよし。持つもよし。こちらヨネックス感覚。

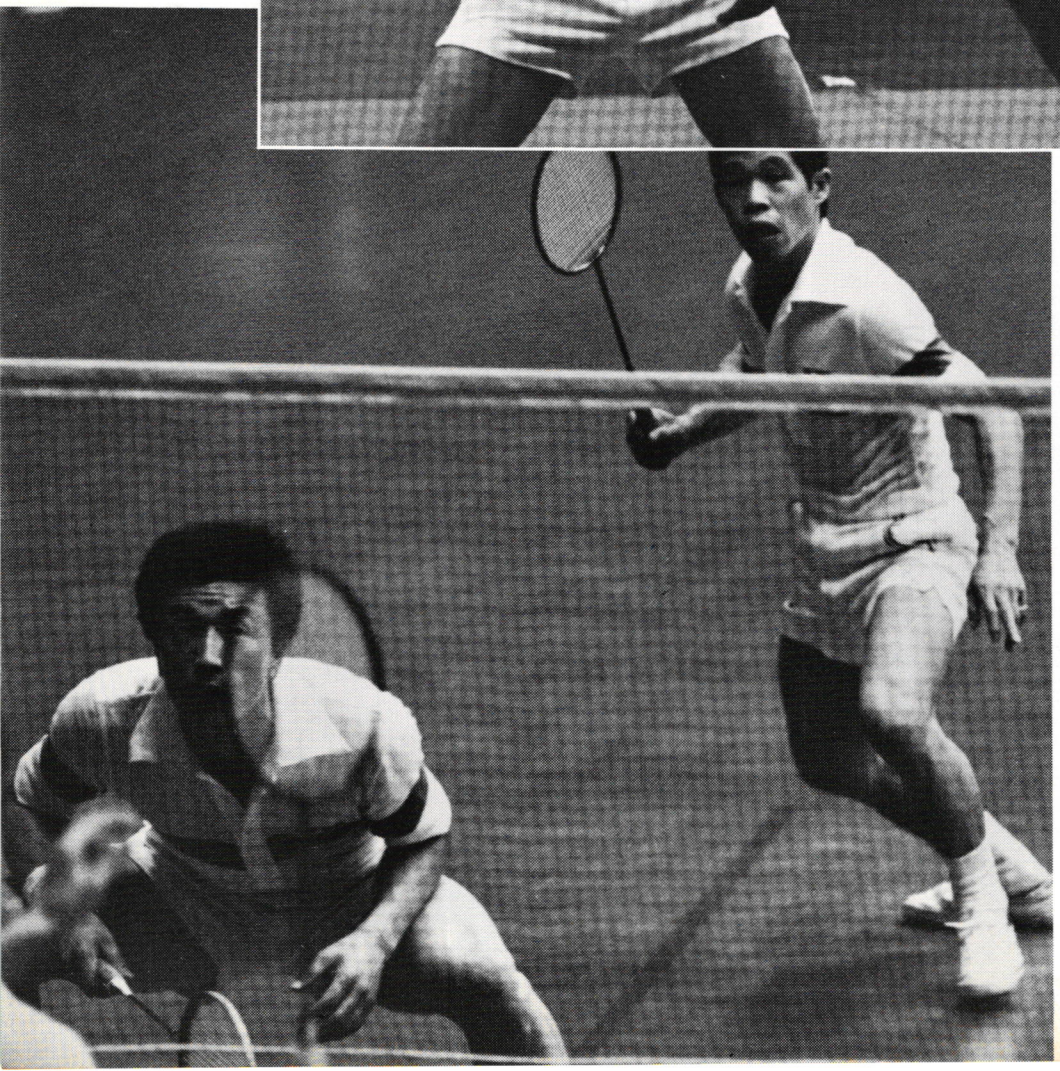
機能をつきつめたものは美しい。ヨネックスはこの考えを基にして、たくさんのスポーツウエアをおとどけしています。白を基調に、ヨネックスのシンボルカラーであるブルー＆グリーンをアクセントにしたもの、そのほかシャレた色づかいのものなど、種類もサイズも豊富です。年齢や性別をこえ、国境をこえて、トッププレイヤー達の身をつつんでいます。またスポーツバッグにしても、細かい親切設計でデザインされています。同じ型でありながら一週間用、4～5日用、1～2日用など大・中・小とそろえたり、多目的に使えるものもあったりで、選ぶ楽しさじゅうぶん。色は白が中心ですが、濃緑、濃紺、茶などいろいろあります。さて、スポーツシューズもヨネックスの自慢。靴底が機能的な設計ですから、フットワークが生きてきます。スポーツをサイエンスの目でとらえ、そして美しい形を仕上げる芸当。これぞヨネックス感覚です。

YONEX®

白熱の

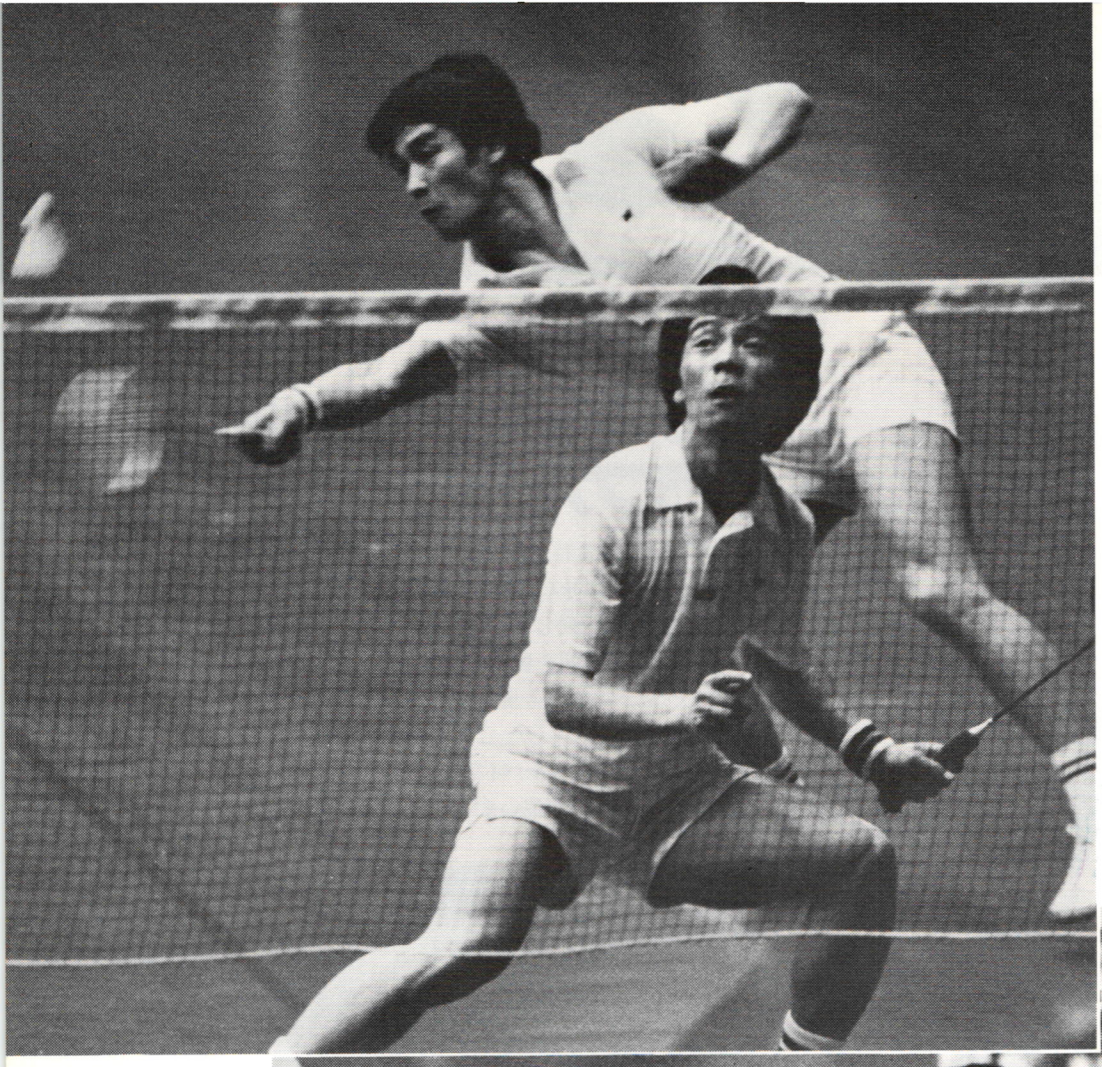


▶4連覇の偉業達成、栂野尾・飯野組

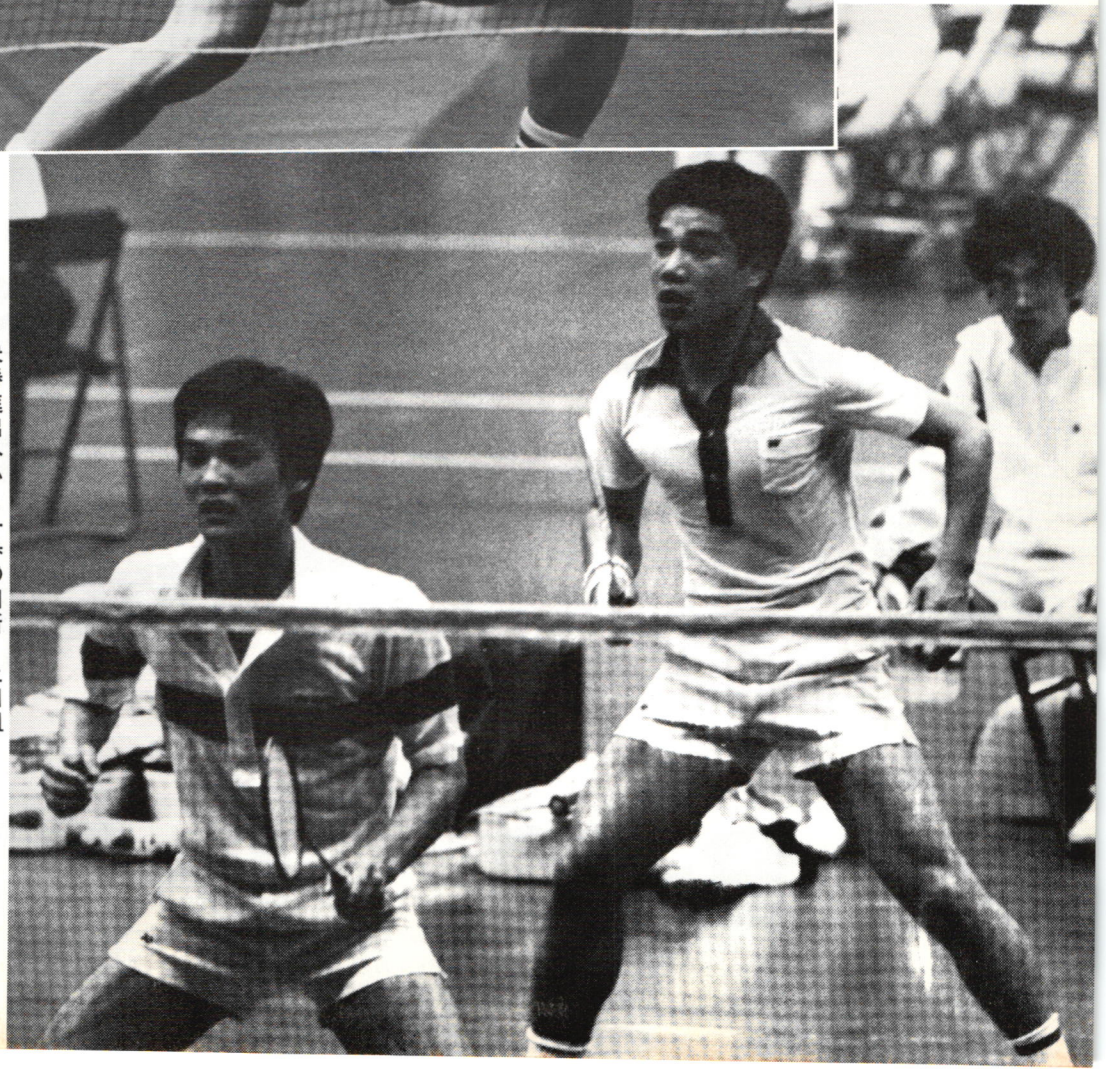


◀またもや惜敗の池田・尾崎組

全日本実業団から



◀復調なった古豪、今泉・牧野組

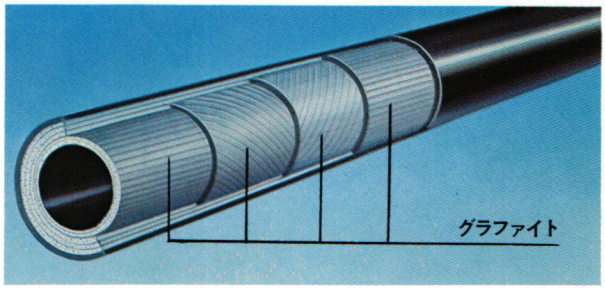


▶決勝進出へいま一歩の田所・土田組

E RACKET

世界初の100%
グラファイトシャフト

画期的なものを生むためには冒険が必要です。B－82・B-80もこの例にもれません。グラファイトファイバー繊維は異方性にとむ性質で、配列しだいでは性能が大きく変わります。カワサキはこの難問を独特のクロス加工で解消。方向の異なるグラファイト繊維を4層に重ね合わせ、素材のもつ特性を最大限に引き出しました。これこそ世界が待ち望んでいた理想のラケット。スチールパイプにカーボンをまきつけただけというラケットとは威力が違います。この完成度の高さはカワサキならではのもの。



kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

AFT

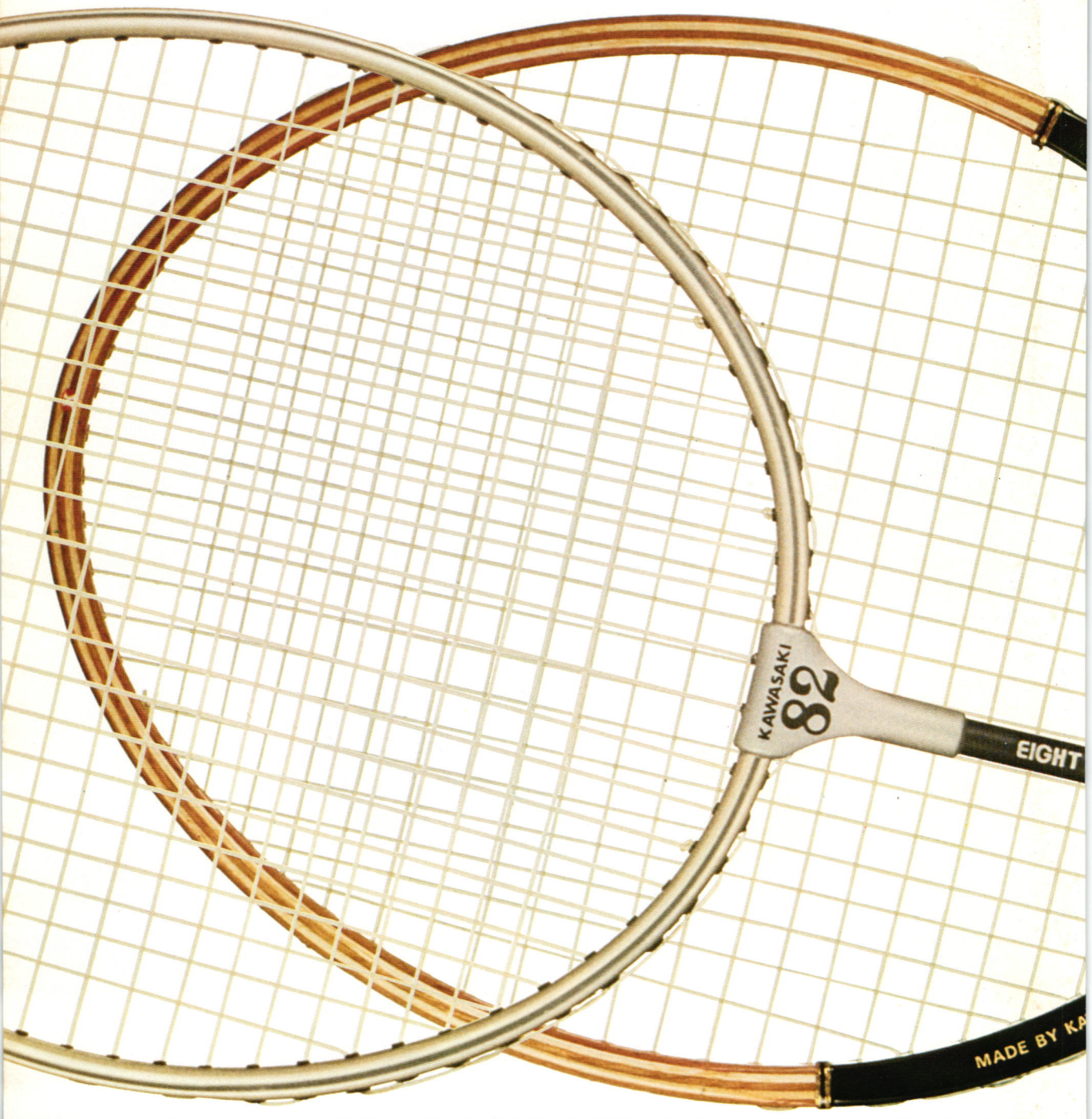
B-82

グラファイトシャフト アルミフレーム シルバー（ケース付）
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,700円

B-80

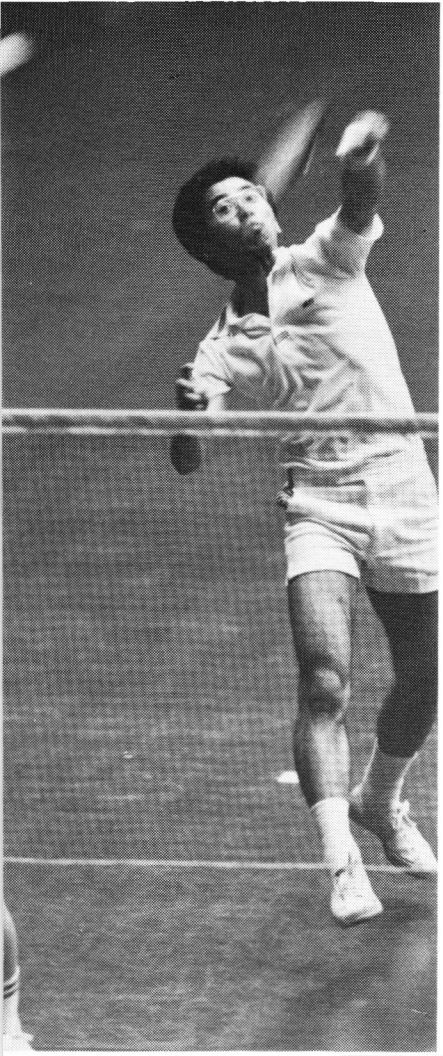
グラファイトシャフト ウッドフレーム 黒（ケース付）
フレーム価格7,700円 ガット張り上り価格8,400円

GRAPHIT



スイートスポットの広さがちがう

ALL GRAPHITE SH



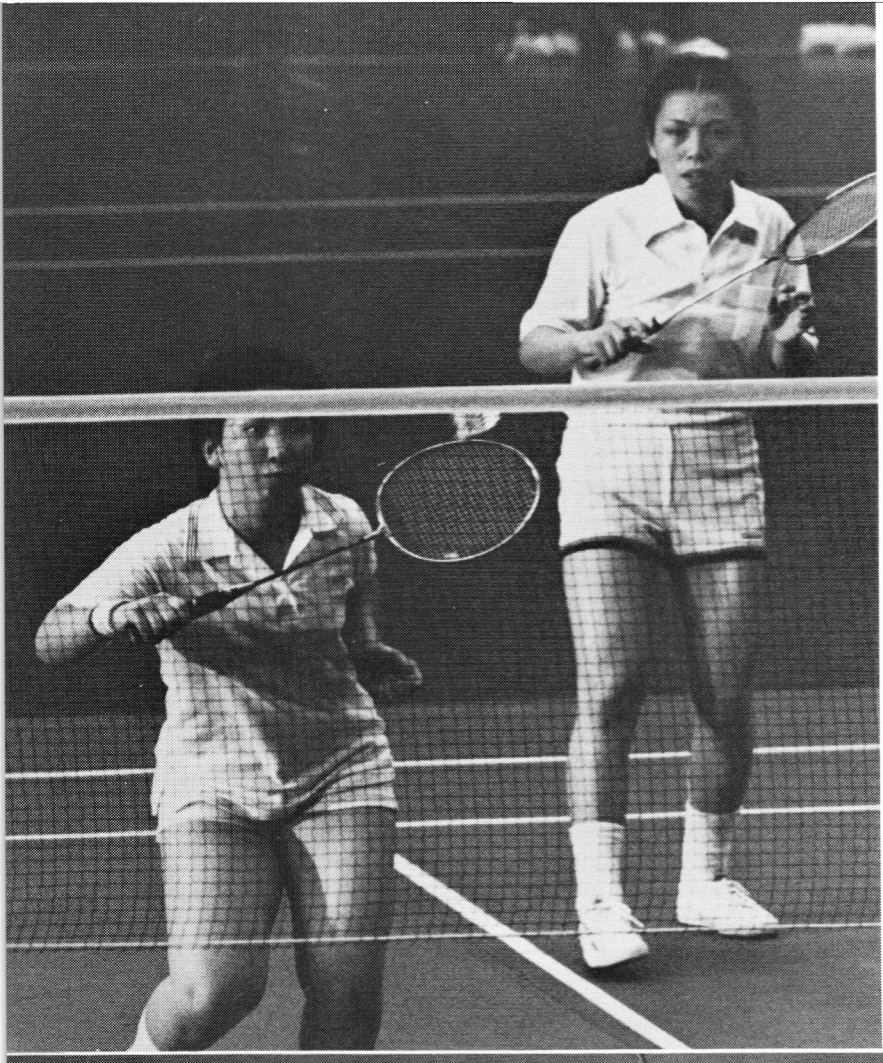
守った日下・牛田組

▶完璧なコンビネーションを見せた徳田・高田組

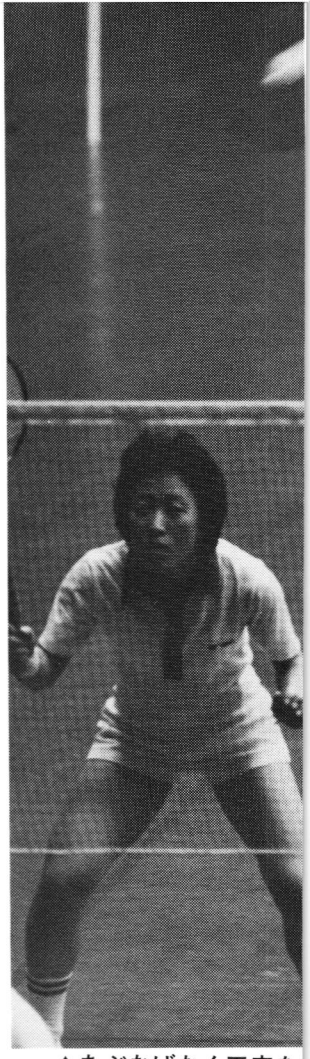




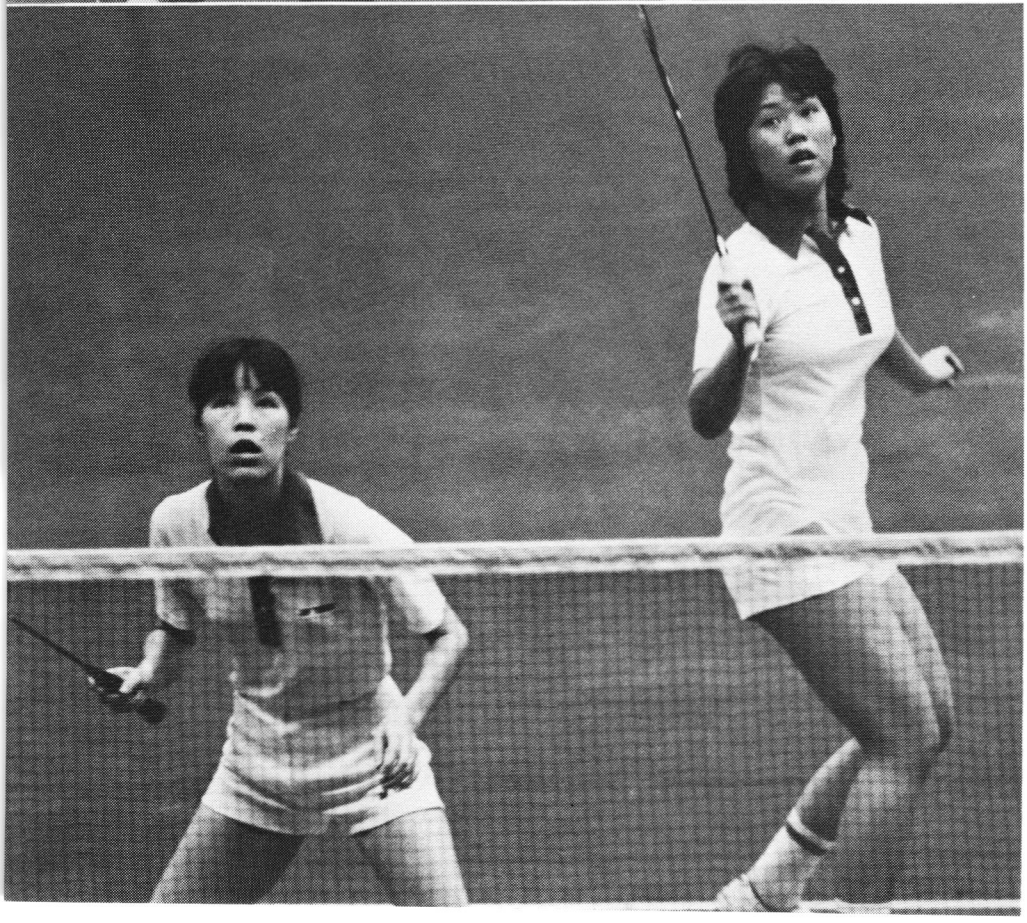
▶ベスト4の力を完全に身につけた田所・石原組



◀パワー不足を巧みなラケットさばきでカバーした湯木・千葉



▲あぶなげなく王座を



◀新コンビの不利を克服した飯野・植野組



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット。ハイ・トーマス

No. B45 ハイ・トーマス ¥4,800　★農業級選手用ロングテーパーシャフト フレーム・カバー付

竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積した、バンブーラケット〈ハイ・トーマス〉。竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。ガット張りによるラケットの変形が起らなく、ソフトグリップが手に良くなじみます。

日本バドミントン協会推奨

球ばなれの早い極限の0.75㎜。新発売。

HY-SHEEP Super ハイ・シープ・スーパー



超強力（ナイロン）糸の使用により、インパクト時の摩擦による、ガット切れは解消。細いゲージ（0.75㎜）が球ばなれを早くし、また風による抵抗が少ない為、シャープな振りを生む。打った時の確かな手応えは長期間の使用にもゆるみがなく、常に鋭い反撥力。

温度・湿気などに変質しない優れた耐久性は限界を知らない技術の結晶。張り上げがスムーズで色合いも他に類のない、ラケットとのトータルカラー。常に追求を緩めないゴーセンの技術陣が作りあげた、まさに超スーパー級のガットです。

高級トーナメント用〈オレンジ〉¥500

株式会社ゴーセン

■本社●〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5816 代　■東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2☎(03)862-6576 代　■福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8☎(092)712-5247 代　■北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22☎(0762)47-0200 代

演劇随想⑤

「オイディプス王」

放送作家　寺田太郎

文字に定着された戯曲を持つ演劇がはじめて生れたのは古代ギリシアであった。ソポクレス（前四九六頃～四〇六）作「オイディプス王」はその代表的な作品の一つであるが、上演は紀元前四二九年ごろ……遅くも四二五年とされているから、こんにちからすれば二三〇〇年以上も過去のことになる。

テーバイ市にはこのところ疫病が蔓延して死者がおびただしい。この背後には神の祟（たた）りが潜むに違いないと考えた王オイディプスは、妻の弟クレオンをデルポイ神殿に送り、その神託を待っているところから劇は始ます。

クレオンが待ち帰った神のお告げによれば、オイディプスが王位に就く前に先王ライオスが殺されているのだが、いまは、その殺害者を摘発することが唯一の解決策であるとのこと。

神託に従って、オイディプス王の探索が着実に、誠実に開始される……。

まず予言者が召致され、彼は呪われた不吉な未来と予言するが、王はこれをクレオンの共謀と誤解し、その間に激しい論争を展開する。仲裁に入った王妃イオカステは、ここで神託なるものの不確実性を主張する。なぜなら、彼女の先夫ライオスは神託によれば彼自身の子に殺される運命にあったのでが、事実は、旅の途次、盗賊に殺されたというだはないか。

が、王に疑念が起こる。彼には、かってコリント国の王子だった時、父を殺し母と交るであろうとの神託に怯えて逃れ出た経験があったのだ……。

そのコリントから使者が登場したとき事態は急転する。「あれはあなたの実の親ではありません。羊飼いが山の中で見つけた捨子を私が貰い受け、子供のなかった王ご夫妻に譲り渡したのです。その子が実はあなただったのです」と、肉体上の特徴をも挙げた。

王と共にさっと色青ざめたのはイオカステであった。彼女には、かつて神託に従って棄てさせたあの子がこのオイディプスであることが、どうしようもなく、明らかになったのだった。

「ああ、何という可哀そうなかた！そうとしかお呼びすることは出来ませぬ。ほかの名でお呼びすることはもうありますまい…」

彼女は最後の言葉を残して宮殿に入った。

オイディプスの前に、「羊飼い」が登場して、使者の証言が真実であること、さらにまた彼自身は先王が殺害された時の唯一の目撃者であったと言う。

そうか！　そうだったのか！　この国に入るな自分は些細な争いからある人を殺害した。さっきから気になり出していたのだが、あのときの相手は先王だったのか。

宮殿内ではイオカステは自殺して果てていた。オイディプスは妃＝母のブローチをもっておのれの両眼を突き刺した……彼が蒙（こうむ）ったことも、彼が行ったこともはや見えぬように！　そして不明であったこの眼（心）は暗黒のうちにあることふさわしいのであった。

「オイディプス王」においてソポクレスは驚嘆すべき技法を展開した、あたかも緻密に織りなされた推理劇のごとくに。すべては劇の進展につれて裏返されていくのである。

ギリシアの哲学者アリストテレス（前三八四～三二二）は悲劇についてその「詩論」で論じているが「悲劇の効果は恐怖と哀憐により、それと類似の感情からのカタルシス（浄化）をひきおこすことにある」と定義づける。「オイディプス王」こそはまさにそれに該当する。また彼の説く三単一（場所・時間・主題のそれぞれにおける）もここに明らかに立証されるのである。（なお心理学におけるオイディプス〈エディプス〉・コンプレックスの語源もこの主人公に発している。）

昭和53年度中国高校選手権・6・24～25　松江市総合体育館

山陽女子、驚異の21連勝

男子は水島工が初の栄冠

中国高校選手権大会は6月24日、25日の両日、中国五県下で開催され、バドミントンは松江市総合体育館で行われた。

男女とも岡山勢が圧倒的に強く、男子は水島工が初優勝、女子は山陽女子がじつに21連勝を飾った。

山陽女子は個人戦も制し、全種目に栄冠を獲得した。

▼男子団体戦準々決勝

水島工（岡山）3―1府中（広島）　福山章陽（広島）3―2松江北（島根）　境港工（鳥取）3―1出雲農林（島根）　倉敷工（岡山）3―1出雲商（島根）

▽準決勝

水島工　3―1　福山章陽
境港工　3―1　倉敷工

▽決勝

水島工　3―2　境港工

▼女子団体戦準々決勝

山陽女（岡山）3―0徳山（山口）　米子西（鳥取）3―0天城（岡山）　下関南（山口）3―2西大寺（岡山）　広島第一女（広島）3―1倉敷西（鳥取）

▽準決勝

山陽女　3―0　米子西
広島第一女　3―1　下関南

▽決勝

山陽女　3―0　広島第一女

▼男子シングルス準々決勝

難波　2―0　岡崎（水島工）　（下関中央）矢田　2―1　光成（出雲商）　（市立福山）中井　2―0　藤原（境港工）　（水島工）亀山　2―0　藤井（倉敷工）　（山口）

▽準決勝

難波　2―1　矢田
亀山　2―0　中井

▽決勝

難波　2―1　亀山

▼男子ダブルス準々決勝

中井・喜多村（境港工）　2―1　渡辺・野瀬（倉敷天城）　難波・藤原（水島工）　2―0　足立・阿部（境港工）　藤川・沢本（境）　2―1　岸田・吉村（山口）　前田・笠原（倉敷工）　2―1　亀山・宇野（境港工）

▼女子シングルス準々決勝

皿井（山陽女）　2―0　須田（下関南）　原田（山陽女）　2―1　岩田（米子西）　串田（山陽女）　2―0　藤岡（第一女商）　細川（米子西）　2―0　斉藤（山陽女）

▽準決勝

皿井　2―0　原田
串田　2―0　細川

▽決勝

串田　2―0　皿井

▽準決勝

中井　2―0　難波
喜多村　藤原
藤川　2―0　前田
沢本　笠原

▽決勝

中井・喜多村　2―0　藤川・沢本

▼女子ダブルス準々決勝

串田・皿井（山陽女）　2―0　池原・波谷（第一女商）　天野・原田（山陽女）　2―0　平井・井上（下関商）　臼田・平田（松江商）　2―0　須田・中岡（下関商）　細川・岩田（米子西）　2―1　斉藤・松島（山陽女）

▽準決勝

串田・皿井　2―0　天野・原田
細川・岩田　2―0　臼田・平田

▽決勝

串田・皿井　2―0　細川・岩田

（資料提供＝岡山県協会）



CARBO DELUXⅡ

S-79

新製品

カーボデラックスⅡ

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

●ラケット・アンケート……(上)

一平さん、小織ちゃんは どんなラケット!?

〝さあ！バドミントンをしよう〟というときに、私たちと切っても切れぬ縁にあるのがラケット。そこで今月は、社会人、学生界の第一線で活躍中の選手のみなさんに御協力をお願いし、どのようなラケットを使い練習し、また試合に臨まれているかを調べてみました。

アンケート調査の内容は次の通りです。

(1) ウッドかスチールか?
(2) バランス（フレーム・グリップのどちらが重いか?）
(3) グリップサイズ
(4) 使用ガット
(5) いつも何本ぐらい所持しているか?

（以下敬称略、アイウエオ順）

▼秋庭克行（21才・日本体育大学4年）
(1) スチール（大学3年のインカレ1ケ月前に変更・ヘッドがよくまわりはやいタッチができるため）
(2) グリップ
(3) 中（タオルグリップ）
(4) ナイロンガット
(5) 2～3本

▼秋本幸子（23才・サントリー）
(1) スチール（中学1年～高校1年はウッド、高校2年～現在はスチール・技巧力の練習をした時期にスピーディーなラケットワークをするため）
(2) フレーム
(3) 小（タオルグリップ）
(4)
(5) 4～5本

▼飯野裕子（25才・ヨネックス）
(1) スチール（大学1年のときに変更）
(2) グリップ
(3) 小（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4～6本

▼飯野佳孝（25才・ヨネックス）
(1) スチール（52年4月に変更・軽くラケットを振り切れ、空気抵抗がなく振りが早くなる）
(2) グリップ
(3) 大（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4～6本

▼池田信孝（31才・電電東京）
(1) スチール（52年5月に変更・それ以前は130gのウッドを使用・肩を痛めたため）
(2)
(3) 中（レザー）
(4) 本シープ
(5) 5～6本

▼今井茂満（28才・河崎ラケット）
(1) ウッド
(2) グリップ
(3) 大（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4～6本

▼今泉勉（29才・高岡市役所）
(1) スチール（52年に変更・スマッシュレシーブが押されがちだったため）
(2) グリップ
(3) 小（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4本

▼植野恵美子（20才・ヨネックス）
(1) スチール
(2) フレーム
(3) 小（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4本

▼牛田真由美（百十四銀行）
(1) スチール
(2) グリップ
(3) 中（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 3本

▼大塚ソノエ（21才・日本体育大学4年）
(1) スチール（高校2年間はスチール、一時ウッドに変更したが、重すぎるため現在はスチール）
(2) グリップ
(3) 中（レザー）
(4) 本シープ
(5) 3本

▼尾崎幹雄（26才・電電東京）
(1) ウッド
(2) グリップ
(3) 中（レザー）
(4) 本シープ
(5) 3本

▼鏑木智博（21才・日本体育大学4年）
(1) スチール（大学3年の秋期リーグ戦後に変更・ラケットを大きく振りまわせるため）
(2) グリップ
(3) 大（タオルグリップ）
(4) 本シープ

（5）3本

▼**川島直子**（18才・東京女子体育大学1年）

（1）ウッド

（2）フレーム

（3）中（タオルグリップ）

（4）ナイロンガット

（5）3本

▼**北田スミ子**（16才・四条畷学園高等学校2年）

（1）スチール（高校1年より）

（2）グリップ

（3）中

（4）ナイロンガット

（5）4本

▼**日下昇**（25才・百十四銀行）

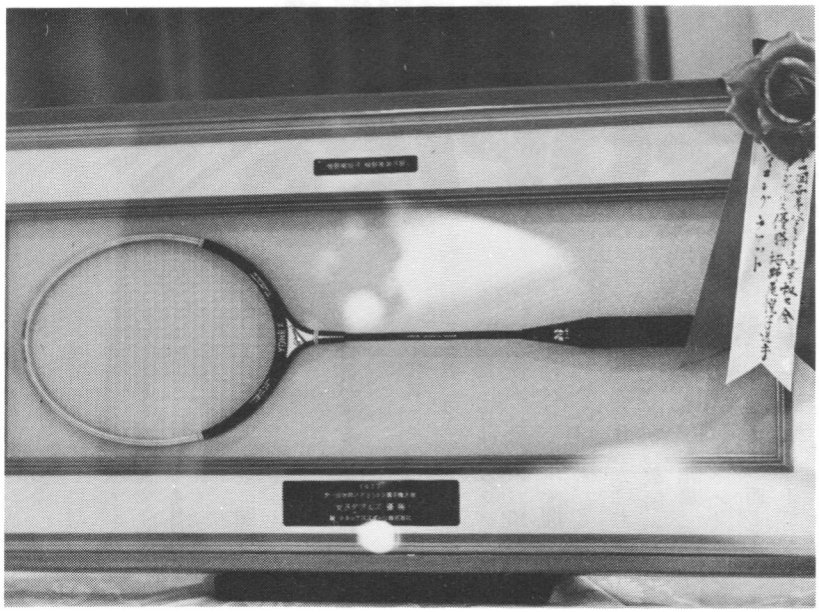
（1）ウッド（スチールは頼りない気がする。また軽いものしかなく、120gぐらいが少ないため）

（2）以前はフレームが重かったが、スピードについてゆけないので現在は中程のラケットを使用。

（3）中（タオルグリップ）

（4）本シープ

（5）3本



梅野尾悦子さんが第1回世界選手権で優勝した際の記念すべきラケット

▼**小島一平**（34才・RS元町）

（1）ウッド

（2）グリップ（グリップが太いのと、夏にタオルグリップを巻くので自然とトップライトになる）

（3）大（レザーの上からグリップタオルを巻く）

（4）本シープ

（5）6本

▼**近藤小織**（22才・河崎ラケット）

（1）ウッド

（2）フレーム

（3）中（レザーをはずし、タオルグリップを巻く。尻革にはテープを巻く。）

（4）本シープ

（5）4～5本

▼**酒井直入**（20才・法政大学3年）

（1）スチール（大学に入ってから）

（2）グリップ

（3）小（タオルグリップ）

（4）ナイロンガット

（5）3本

▼**沢内真由美**（21才・東京女子体育大学4年）

（1）スチール（52年10月に変更）

（2）フレーム

（3）小（タオル・グリップテープ）

（4）本シープ

（5）3～4本

▼**管敏明**（21才・中央大学4年）

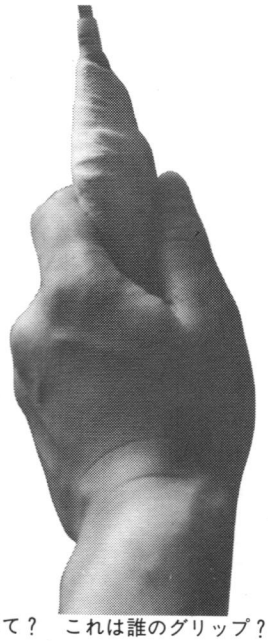
（1）スチール

（2）グリップ

（3）小（タオルグリップ）

（4）ナイロンガット

（5）3本



はて？　これは誰のグリップ？

▼**関根和子**（21才・日本体育大学4年）

（1）ウッド（高校卒業前に変更）

（2）フレーム

（3）中（タオルグリップ）

（4）本シープ

（5）5本

▼**銭谷欽治**（25才・河崎ラケット）

（1）ウッド

（2）グリップ

（3）極太（タオルグリップ）

（4）本シープ

（5）練習のとき5～6本・試合のとき4～5本

（来月号へつづく）

WORLDWIDE TOPICS

海外トピックス

友枝康子

世界バドミントン連盟（WBF）は、既存の国際バドミントン連盟（IBF）に対立するものとなったが、それに対する見解をIBF機関誌の「ワールド・バドミントン」4月号から拾ってみよう。

IBF年次総会に関する記事もあわせてご紹介しよう。

世界バドミントン連盟の設立

IBFとまっこうから対立する世界バドミントン連盟発足の会議が、テー・ジン・スイ氏と「準備委員会」のお膳立で、去る2月24日、香港で開かれた。アジアから13団体、アフリカから6団体の代表がこれに参加し、そのほかにも、数国からのオブザーバーが出席。マレーシア、インド、メキシコ、フランス、スロベニア、西ドイツ、オーストリア、スウーデンである。正式代表、オブザーバーのいずれにも、日本、インドネシアの出席のなかったことが注目される。

会議では、連盟の暫定諸規則の採択と役員の選出が行われ、会長はタイから、会長代理は中国から、スイ氏は名誉幹事に、香港のティモシー・ウォク氏は名誉会計、タイとタンザニアから別会長各一名、そのほかに3つの空席を残して選ばれた。理事には、アジアから3名、アフリカから2名が選出されたが、7名が空席となった。

時、場所も同じく、「世界招待選手権大会」が開かれた。11のアジア諸国（インドネシア、日本、インド、マレーシアの参加はない）と、アフリカ6か国が参加したと伝えられている。アフリカからの参加は、ガーナ、ケニア、モーリシャス、ナイジェリア、タンザニア、ザンビアで、いずれもIBFの会員。

男子シングルスは42名、同ダブルスは22組が出場したが、そのほかの種目は8組以下の参加しかない。中国は、4種目に優勝、しかも同種目の準優勝もさらったが、混合ダブルスでは、香港が決勝で中国を倒した。

選手の競技参加失格

先のIBF理事会決定によれば、IBFの規定に従って、香港大会出場者はすべて、直接あるいは間接にIBFで認可されたトーナメント、競技会に出場する資格を失たことになる。

IBFの全会員は対抗機関結成の動きが明らかにされた、11日3日という、かなり以前から、この規定に対する注意を促されていたわけで、これを適用すべきでないという理由は、どこにもない。

IBF認可の試合に出場する資格をとりあげるという決定は、あるいは現状認識に欠けるところのあったかも知れないプレーヤー個人にとっては、酷だと思えるかも知れない。しかし、これはどうしようもないことだ。各プレーヤーは、自国の代表機関によって決められた決定は守らねばならない。たとえば、トマス杯参加に、その機関が不参加あるいは取り消しを決めれば参加できない。こういう場合と同じである。

この影響が考えられる近々の大きな試合は、先に名を出したアフリカ6か国や香港、スリランカ、シンガポールが参加権のある8月の「英連邦大会」である。

44年の歴史を持つIBFと対抗し、破壊しようとする意図を持っている、この機関の結成については、5月18日、ニュージーランドのオークランドで開かれるIBF年次総会で議論されるだろう。そして、WBFの会員登録をした各国の団体は、どちらかの連盟から脱退するようもとめられると予想される。どの国の団体にしろ、二つの世界機関に属することは考えられず、これは説明不要の事実だ。

バドミントンのように世界的に普及したスポーツで、このような事態は悲しいことだ。すべては、アジア各国政府の政治的理由によって仕向けられた、台湾バドミントン協会のIBFからの追放失敗に対する不満によって助長されたことだ。IBF理事会にその不満をぶつけるが、台湾の資格保留は、追放を適切とは見ないで、この数年動議が出されても、必要な4分の3の賛成が得られない総会の責任に帰せられるものだ。

不満のもう一つの原因は、現在、一機関に一票から三票の投票権を与えている現在の総会の投票の仕組を廃止できないでいることにある。彼らは「一国、一票」を要求している。

ABC、IBFを脱退

新しくWBFが発足した翌日、アジア・バドミントン連合（ABC）の臨時総会が開かれた。

この席上、IBFからの脱退を決議した。ABCは、IBFには、投票権を持たない国際機関として加入していた。この脱退は、各国の会員資格とは何ら関連はない。

こうした各国機関は、その意思がかなり明確になる5月のオークランドでのIBF総会に出席することは間違いないだろう。

東欧諸国のバドミントンの動きは、ほとんど伝わらないが、「ワールド・バドミントン」4月からは、昨年開かれた第6回チェコスロバキア国際大会のもようをお伝えしょう。

かなり古い記事になってしまったが、雰囲気を伝えることはできると思う。

11か国のプレーヤー、プラハに集まる

第6回チェコスロバキア国際選手権大会は、10月7日から10日まで、プラハで開かれた。80名のプレーヤーが次の11か国から参加。オーストリア、デンマーク、イギリス、東ドイツ、西ドイツ、フランス、オランダ、ポーランド、スウエーデン、ユーゴスラビア、チェコスロバキア。

イギリスとスウェーデンはこの大会は初の参加。もし前回参加したベルギー、フランス、スイス、ソ連が、今度また参加すれば、15か国にふえ、この大会の短い歴史から考えれば、大成功というべきだ。

この大会の特色の一つに、この場所が、西欧、東欧の選手及び役員の定期的な集まりとなっていることで、他のヨーロッパの試合では望めなかった顔合わせができるということがある。ヨーロッパ最強のバドミントン諸国は、この機会に、「トップ」クラスではなく、若い有望選手たちを送り込む。

今大会、優勝の配分はうまくいき、前年のタイトルを守れたのは、わずかに、デンマークのインゲ・ボルグストローム嬢と、東トイツのカッセンス夫人・ミカロウスキー夫人組だけだった。

予想外のシングルス

男子シングルスで最も予想外だったのは、過去の成績と国内のランキングから予選試合を行わねばならなかったスウェーデンのウィリー・ニルソンの優勝である。相手が見劣りせず1ゲームを許したのは、有望なチェコの若者R・ホロブラディだけで、本試合に入ってからは、たてつづけに2ゲームを楽にとり、快勝で前年の覇者西ドイツのM・シュナーゼを降した。

全般にチェコのプレーヤーは予選ではかなりの勝利をおさめ、接近したゲームが見られたが、どの種目も準決勝に進めなかった。

オランダのリダー、ユーゴのベルデンなどが男子シングルスの第1回戦で敗退したことは、緊迫したゲームと参加者の水準の高くなったことを示している。

各種目の快勝スコアは次のとおり。

◇男子シングルス
ニルソン（スウェーデン）15—7、15—9 シュナーゼ（西ドイツ）
◇女子シングルス
ボルグストローム（デンマーク）11—2、11—4 リダ—夫人（オランダ）
◇男子ダブルス
ブリヴァント、ウィルクス（英）15—11、15—5 エルフリード・ミカロウスキー、エドガー・ミカロウスキー（東ドイツ）
◇女子ダブルス
カッセンス夫人、ミカロウスキー夫人（東ドイツ）15—10、15—12 シュテデン夫人、ツィツマン夫人（西ドイツ）
◇混合ダブルス
R・リダー、リダー夫人（オランダ）15—5、15—9 メイバルト、シュテーデン夫人（西ドイツ）

IBF年次総会、オークランドで

5月18日、ニュージーランドのオークランドで開催の一九七八年度IBF年次総会では、重要問題が山積している。47項目にわたる議事予定は規則の明確化のための改正も多く、必ずしもすべてが重要というわけではないが、予定表から主なものをひろい上げてみる。

まず、バドミントン・ワールド」誌の今後の問題を含めた財政問題では、スウェーデン提案の連盟会費の100%値上げがある。理事会出席の旅費を全部これによってまかなおうというもの。

台湾問題が「会員」の項で大きく扱われている。スウェーデンが、台湾の追放を再度提案。その理由としては、現在台湾が会員であることは、このスポーツの発展を妨げることになる、というものだ。理事会も動議として、もし台湾がその名称のあとの「ROC」の文字を除くことに同意しなければ、追放を要求する。としている。台湾の資格問題から派生したことで、理事会は、会員が連盟との論争を法廷に持ち出すことを防止するための連盟規約の改正を提案する。これによると、どのような論争も仲裁に付すことになる。

もう一つの理事会提案に、「連盟もしくは連盟の目的に反した行動があれば、会員の権利を保留する」ことを理事会に認めさせよ、というのがある。これは、IBFに反する行動をとる外部機関を支持する会員を抑えようとする努力にほかならない。

現行のユーバー杯インターゾーン組み合わせの反省から、今後の方法に対する変更が促されている。おだやかな形のシードが提案されている。

一九七九年の総会は、インドネシアで、ジャカルタでのトマス杯インタゾーン開期中に開くことが提案されている。

女子ダブルスの分析

日本体育大学監督　関根義雄
国分寺市バドミントン協会　平川卓弘

はじめに

毎年ヨーロッパ選手を迎えて行なわれる国際バドミントン競技大会で、第7回大会の初日、今年の一月十六日京都大会でヨーロッパナンバーのオランダチーム、ビューセコム、リダー組と対戦した徳田、高田組は15―4、17―16の2―0でストレート勝ちをしました。この健闘がユーバー杯奪還の好成績に結びついたと思います。今回はこの様子を分析してみました。

●分析1

時間分析図

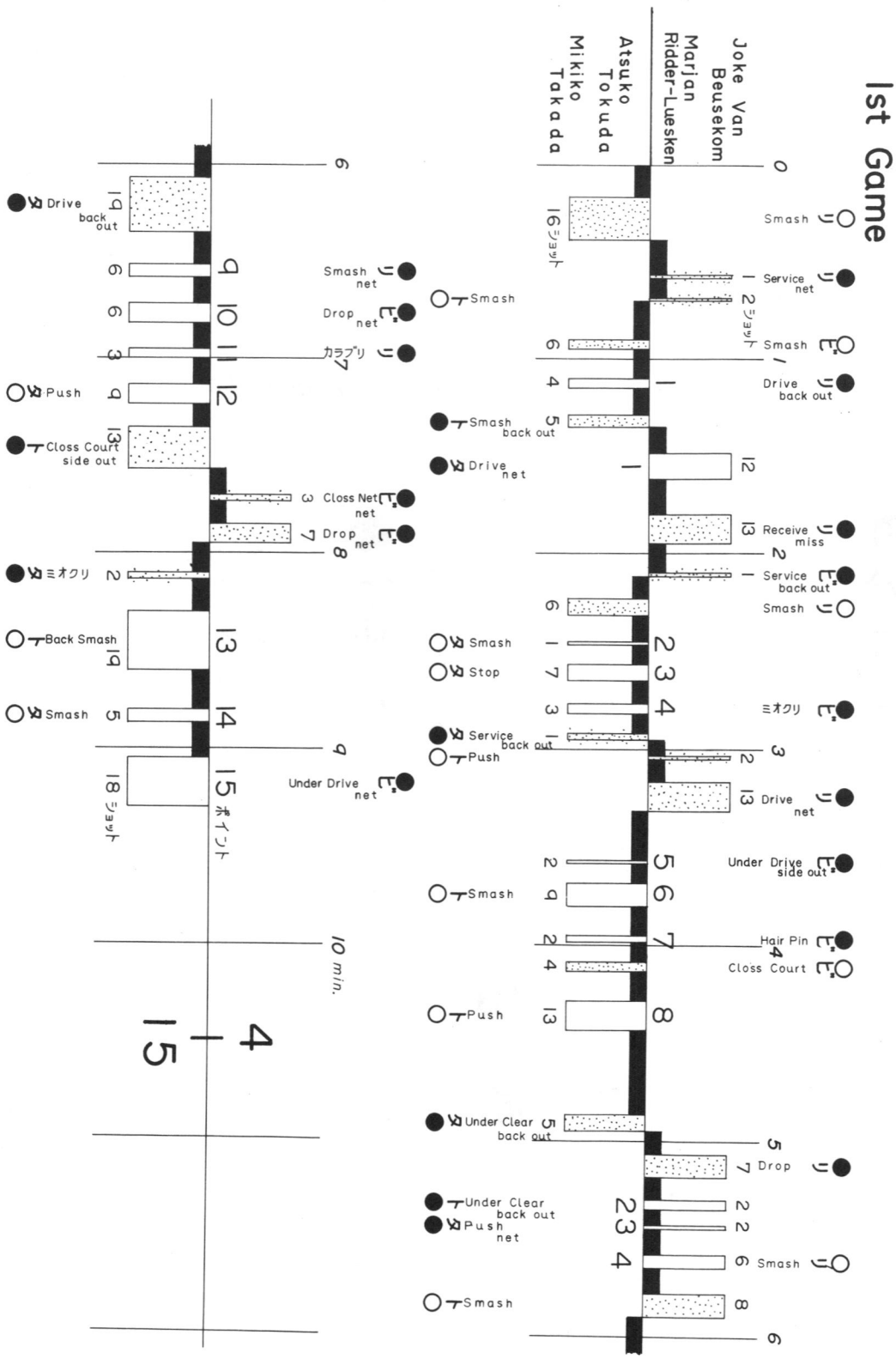
図―1は普通の記録方法によるものです。これを2月号に紹介した方法で記録したのが図―2です。図―2は左から右に向って試合経過時間に従って示してあります。また、2ゲーム目の最後に時間の長さを示す2ケールを入れておきましたので参考にしてください。2つの図を各ポイント毎にていねいに追ってみてください。試合展開が目に見えてきます。ゆっくり見てゆくと楽しい読みものになります。

表―1にラリーの終了した様子をまとめてみました。エース率（エース数＋ミス数で割った割合）で見ると徳田が最も良く50％。高田43％、リダー40％、ビューセコム23％となり日本チームが良い成績です。

リダー ビューセコム		⓪		0①		①		①2 3 4		4		
高田・徳田	⓪		⓪1		①1 3 4		4 5 6⑦8		⑧9 101112		⑫13	
	14 15											

リダー ビューセコム		0 1②		②3 4 5		⑤6 7		7⑧		8 9⑩11		
高田・徳田	⓪		0①2 3		3		3 4 5⑥7 8		⑧			
	12		12⑬		⑬14			0 1②				
		8⑨10 11		⑪		11⑫13 14	0 1		1 2 3			

図―1　京都大会


1st Game
Joke Van Beusekom
Marjan Ridder-Luesken
Atsuko Tokuda
Mikiko Takada
Smash
Service net
Smash
Drive back out
Smash back out
Drive net
Receive miss
Service back out
Smash
Smash
Stop
ミオクリ
Service back out
Push
Drive net
Under Drive side out
Smash
Hair Pin
Closs Court
Push
Under Clear back out
Drop
Under Clear back out
Push net
Smash
Smash
Smash net
Drop net
カラブリ
Push
Closs Court side out
Closs Net net
Drop net
ミオクリ
Back Smash
Smash
Under Drive net
Drive back out
16ショット
2ショット
15ポイント
18ショット
10 min.
4
1
15

	高田	徳田	リダー	ビューセコム	合計
エース	15	10	8	6	39
スマッシュ	10	7	6	6	
プッシュ	2	3	1	1	
その他	3	0	1	1	
ミス	20	10	12	20	62
ネットミス	8	3	6	10	27
サイドアウト	5	2	0	4	11
バックアウト	4	2	3	2	11
サービス	2	2	1	1	6
その他	1	1	2	3	7

表—1　ラリーが終了した時の様子

エースした時のフライトはスマッシュが最も多く次にプッシュです。

ミスを見ると、ネットミスが最も多くなっています。中でもビューセコムのネットミスが目立ちます。スマッシュ、ドロップともにネットミスが多く他の技でも調子が悪く、だいぶ荒れていたようです。リーダのサイドアウトがゼロなのは興味あります。彼女はストレート攻撃が多いのでしょう。高田とビューセコムは盛んにクロス攻撃を仕掛けていましたがミスの本数にその様子が出ています。

●分析2
サービスのリターン

表—2にサービスのリターンを示します。どの選手もショートサービスに対してはプッシュ、ロングサービスに対してはスマッシュで対応していますが、2番目に多いフライトで選手の特色が出てきます。ビューセコムはショートサービスに対してヘアピンが多く、徳田はアンダークリヤーが目立ちます。ロングサービスのリターンでは、徳田がハイクリヤーで、リダーは変化を多くして処理しています。

ショートサービスの処理の仕方は高田とリダーが以た型をとっています。

●分析3
全ストロークの比較

表—3にこのゲームの全ストローク数を示します。

サービスは全サービス102本中57本がショートサービスでした。

ゲーム中で最も多いのはスマッシュで164本次がアンダークリヤーで93本、以下アンダードリブンクリヤー、ドライブ、プッシュ、ハイクリヤー、ドロップと続きます。

しかし、オランダチームは多い順に並べるとスマッシュ、ドロップ、プッシュ、ドライブ、アンダークリヤー、ハイクリヤーと続きますが日本チームはアンダークリヤー、スマッシュ、アンダードリブンクリヤー、ドライブ、ハイクリヤーと順になっている点チームの特色が良く出ています。

●分析5
スマッシュスピードの比較

今までに調べてきた一流選手のスマッシュのスピード（帯空時間）を比較してみたのが表—4です。Nは対象になったスマッシュの数です。またそのスマッシュ全部の平均値を秒の単位で現わしたものです。

表の中で高田選手はラリー中のスマッシュが平均0・5秒ほどで4人の選手の中では時間が最も長くなっています。しかし、エースの時のスマッシュは4人の中でも速くなっています。彼女がエースする場合はネットの近くで急角度で鋭いスマッシュを打つために

このようにすぐれた時間値になっています。

攻撃するときに前に出て打つことの大切さを示したものとして、他のゲームのスマッシュエースの時間値を比較してみるとこの様子が良くわかります。

表—4の2番目のブロックにする栂野尾悦子選手、その次のブロックではキールストローム、フローマン選手にも同様な結果が出ています。池田信考選手のスマッシュエースは1本しかありませんがこれもネットの近くから打っているので時間値は極めて小さくなっています。バドミントンは「タイム・コントロール、ゲーム」であることをよく示しています。

参考のために一番下に男子シングルスのものを示しておきます。これはダブルスと戦法が異うためにエースのときにむしろ時間値が大きくなっています。

女子選手8名、2試合を比較した場合、ラリー中のスマッシュでは高田、徳田組のスマッシュの威力は弱いようですが、前に出て打つ高田選手のスマッシュ力は注目すべき鋭さを持っています。

また表—1と関連づけて判断すると、徳田選手のプッシュ技と合体して強力なチーム力となっていることがわかります。

ショートサービスのリターン					
	Takada	Tokuda	Ridder	Beusekom	Total
Push	11	5	11	10	37
Hair Pin	1	1	1	3	6
Under Clear	—	3	—	—	3
Unde Drive	—	—	1	3	4
Unde Driven Clear	1	1	1	—	3
Driven Clear	1	—	—	2	3
ロングサービスのリターン					
Smash	2	6	10	4	22
Driven Clear	—	—	2	—	2
Drive	—	1	—	—	1
Drop	2	—	2	1	5
High Clear	2	3	2	—	8

表—2 サービスの返球

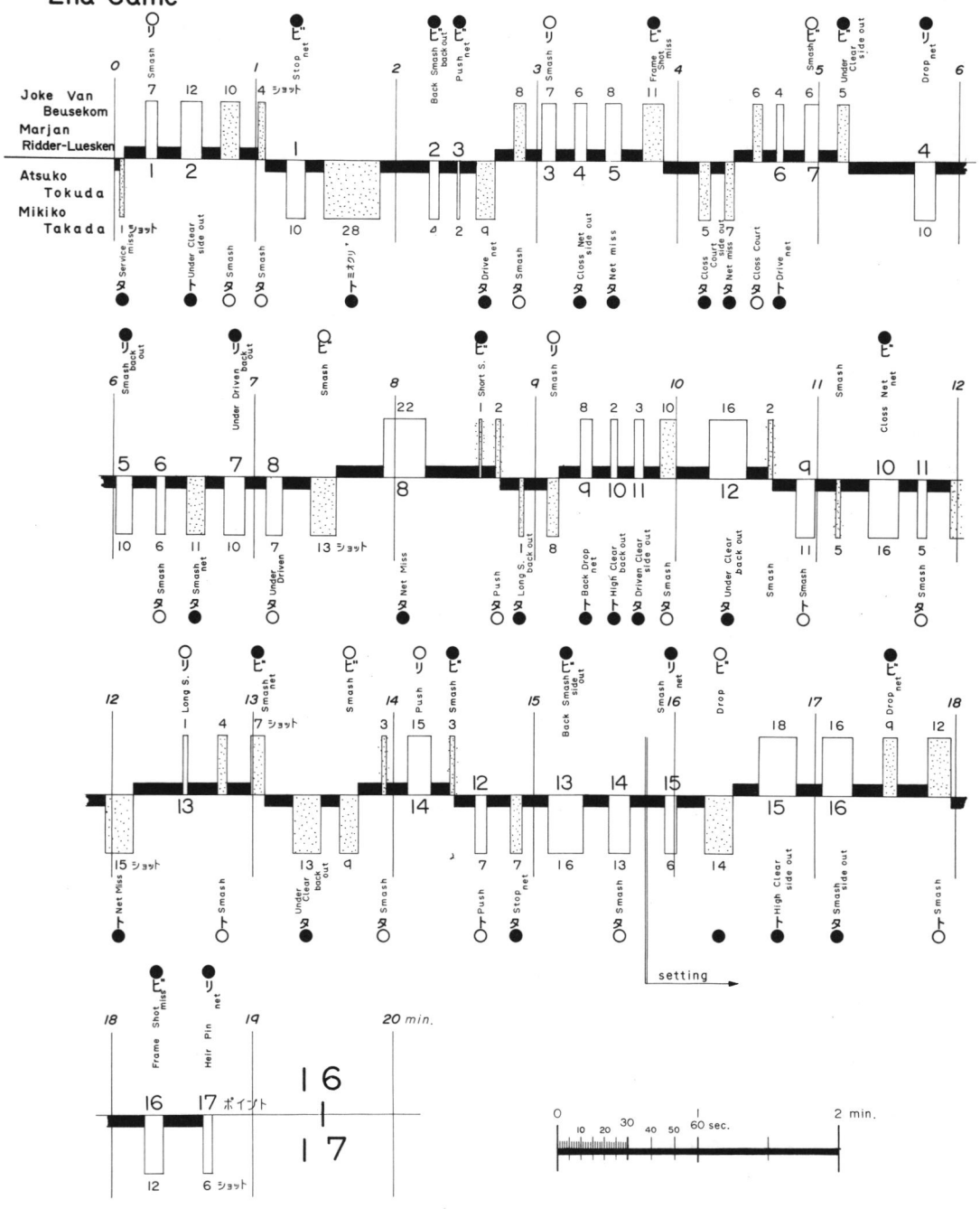
表—3 試合中の全ストローク数

	Japan			Holland		
	Takada	Tokuda	total	Ridder	Beusekom	total
Short Service	17	15	32	16	9	25
Long Service	7	18	25	10	8	18
Drive Service	—	—	—	1	1	2
High Clear	15	15	30	10	14	24
Driven Clear	11	5	16	3	5	8
Drive	21	12	33	15	13	28
Under Drive	11	5	16	6	10	16
Under Clear	25	42	67	11	15	26
Under Driven Clear	19	20	39	9	14	23
Under Cut	9	6	15	3	7	10
Smash	31	31	62	42	60	102
Push	14	8	22	20	15	35
Drop	3	7	10	13	23	36
Stop	10	1	11	2	12	14
Hair Pin	4	6	10	8	5	13
Closs Net	1	0	1	0	1	1
Closs Court	6	1	7	1	4	5
Hop Up	0	1	1	4	1	5
Total	204	193	397	174	217	391

	ラリー中のスマッシュ		スマッシュエース	
	N	$\bar{X}$	N	$\bar{X}$
Takada	20	0.494	6	0.343
Tokuda	16	0.468	7	0.394
Ridder	31	0.471	6	0.397
Beusekom	51	0.475	5	0.388
Toganoo	27	0.458	9	0.370
Ueno	30	0.454	6	0.378
Yuki	59	0.459	4	0.485
Ikeda	60	0.455	1	0.630
Kihlström	23	0.387	8	0.275
Fröman	51	0.414	4	0.275
Toganoo	22	0.445	1	0.500
Ikeda	13	0.431	2	0.200
Pri	18	0.438	4	0.500
Zeniya	27	0.465	7	0.511

表—4 スマッシュ時間値の比較(単位、秒)

2nd Game


Joke Van Beusekom
Marjan Ridder-Luesken
Atsuko Tokuda
Mikiko Takada
setting
18 Frame Shot miss
Heir Pin net
19
20 min.
16
17 ポイント
17
12
6 ショット
0
2 min.
60 sec.

協会からのお知らせ

公　示

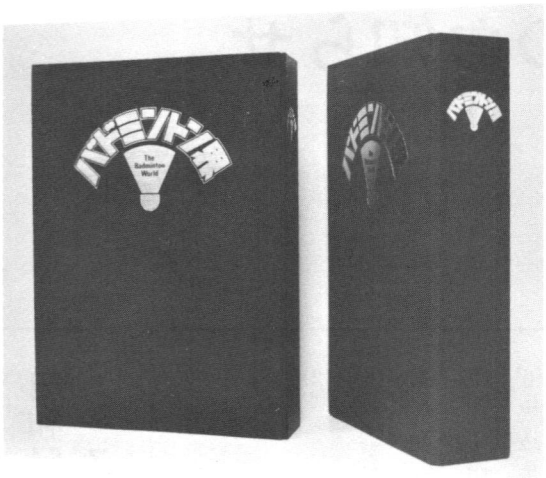
昭和54年度ラケット・シューズ・ストリングスの審査について

(1)日　時　昭和53年9月23日(土)11時
(2)場　所　岸記念体育会館会議室
(3)提出数量　一銘柄につき2点
(4)審査料　一銘柄について三、〇〇〇円
(5)申込期限　昭和53年9月15日15時まで
(6)申込先　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内　日本バドミントン協会事務局
(03)四六七―三一一一内線三五一

○ウェアの審査については左の通りとする。
提出数量…新製品については一銘柄につき1点
その他は写真（型式については別示）
5組
審査料…一銘柄については五、〇〇〇円

昭和54年度シャトル・ネット・ラインテープの検定について

(1)日　時　昭和53年9月24日(日)9時30分
(2)場　所　茗荷台中学校体育館（予定）
東京都文京区春日二―九―五
地下鉄茗荷谷駅下車徒歩7分・都バス小石川四丁目下車徒歩2分
(3)提出数量　シャトル一銘柄につき水鳥・陸鳥は2打、合成は6打、ネット一銘柄につき2張
ラインテープ一銘柄につき2コート
(4)規　定　本会用具検定規定による
(5)検定料　シャトル一銘柄につき三〇、〇〇〇円
ネット一銘柄につき二〇、〇〇〇円
ラインテープ一銘柄につき一〇、〇〇〇円
(6)申込期限　昭和53年9月15日15時まで
(7)申込先　東京都渋谷区神南一―一―一
岸記念体育会館内日本バドミントン協会事務局
(03)四六七―三一一一内線三五一



バドミントン界専用

合本バインダー

定価・500円

穴あけ不要・かんたんに・美しく保存

「バドミントン界」は読捨ての雑誌ではありません。毎月きちんと揃えて保存すれば、バドミントンの百科事典となるものです。

そのために本誌1年分12冊を、穴をあけたり、ノリを使ったりすることなく、簡単に保存しておくことのできる専用合本バインダーができました。

今回製作したものは、表紙の新しいデザインにあわせた写真のようなシャレたものです。

表紙は濃いブルーの特殊レザーを使用し、本誌と同じデザインを銀パクで押したものです。丈夫で長い間の保存に耐えることができます。

専用合本バインダーは1冊定価500円ですので、ご希望の方は下記の送料を加えて、本誌巻末に綴じ込みの振替用紙に必要事項を明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。

バドミントン界編集部

（送料1冊＝300円、3冊まで600円、4冊以上700円）

年間購読のおすすめ

バドミントン専門月刊誌「**バドミントン界**」は、一般の書店では販売しておりません。

購読ご希望の方は、編集部あて年間予約購読をお申し込みください。バドミントン界は一部定価300円ですが、年間予約購読をお申し込みになりますと、一年間3600円のところを3000円に割引となります。さらに日本バドミントン協会登録会員の方は、2800円となります。

お申し込み方法は簡単です。本誌巻末とじ込みの振替用紙に必要事項明記のうえ、代金をそえてお近くの郵便局からお申し込みください。毎月15日に発行と同時にお送りいたします。

購読期間は1年ごとの更新となりますので、6ヵ月や2年間といった変則的なお申し込みはご遠慮ねがいます。

また、ヨネックススポーツ、河崎ラケットの特約スポーツ店、ラケットショップ心町、ラケットショップフジ、ジャワ商会、サンスポーツ、アサヒスポーツ各店でも予約をお取り扱いしておりますので、各店にご照会ください。

バックナンバー一覧表

お申し込みはハガキで　シメキリ＝8月31日

本誌バックナンバーの最新リストができあがりました。本誌はそろえて保存すれば**「バドミントンの百科事典」**となります。専用合本バインダーをご利用のうえ、有効にご利用ください。

◆**55号**＝220円 ▶第5回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

◆**64号**＝220円 ▶第4回国際競技大会▶湯木ギルクスに快勝▶英国強し▶第6回全日本女子チャンピオンズトーナメント

◆**65号**＝220円 ▶小笠原母島のバドミントン▶デンマークオープン▶全日本総合団体戦

◆**69号**＝220円 ▶ユ杯詳報▶湯木、中山マイペース▶相沢・竹中不調▶日本必死の防戦も及ばず

◆**70号**＝220円 ▶インターハイ▶植野女子三冠に輝く▶男子は林田が制す▶東日本学生選手権

◆**71号**＝220円 ▶トマス杯東地区予選日本対香港▶日本完勝▶土田初出場で重責を立派に果たす

◆**72号**＝220円 ▶全日本社会人選手権▶小島・湯木が優勝▶全国の指導者に望むこと

◆**73号**＝220円 ▶第4回日中競技会▶ヤングパワー林詩銓▶はつらつ劉霞▶中国ランキング

◆**74号**＝220円 ▶75年全日本総合選手権▶小島不滅の金字塔▶湯木キズだらけの四連勝▶徳田白熱の善戦

◆**75号**＝220円 ▶第30回国民体育大会▶神奈川が2年ぶりに10度目の栄冠▶全日本学生選手権

◆**76号**＝220円 ▶トマス杯アジア東地区決勝日本対韓国▶日本9―0で完勝▶第5回国際競技大会

◆**77号**＝220円 ▶全日本総合選手権団体戦▶第7回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶ジャカルタの新聞とユーバー杯

◆**78号**＝300円 ▶全英選手権大会▶ハルトノ8回目の栄冠▶ギルクスは三冠王▶第1回アジア招待大会▶スミラト中国勢を連破して優勝

◆**81号**＝300円 ▶学生大会集

◆**82号**＝300円 インターハイ▶金沢市工、四条畷が連勝▶男子宍戸、女子石川が栄冠▶全国中学生大会▶全日本教職員選手権▶京都家庭婦人大会▶長崎家庭婦人大会

◆**83号**＝300円 ▶76年オールスター男子ダブルス▶全日本社会人選手権▶シャトルコックの研究

◆**84号**＝300円 ▶石川県家庭婦人大会▶全日本社会人選手権上位戦記録▶良好書紹介

◆**85号**＝300円 ▶全日本学生選手権▶第31回国民体育大会▶第3回全日本家庭婦人大会▶渋谷バードクラブ紹介

◆**86号**＝300円 ▶76年総決算号

◆**87号**＝300円 ▶日本協会の使命と今後の課題▶第5回日中大会報告▶大阪中央ＹＭＣＡクラブ紹介

◆**88号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権写真集▶しらぎくクラブ紹介

◆**89号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権全記録▶直撃インタビュー小島一平選手は語る▶サントリーチームを訪ねて▶シャトルコックの製造工程

以下はモデルチェンジによる（増ページのものもあります）刷新号で、それぞれ通巻番号でなく、○年○月号とお申し込みください。

◆**77年4月号**＝300円 ▶第6回国際競技大会▶プリついにベールをぬぐ▶欧州男子、スマッシュの威力▶第5回全日本実業団対全日本学生（増ページ）

◆**78年1月号**＝300円 ▶77年全日本総合選手権▶銭谷Ｖ2“実力の証明”▶大器開花近藤初優勝▶飯野・土田組2年ぶりの美酒▶連載＝小島一平、われらのクラブ

◆**78年2月号**＝300円 ▶創刊100号記念増大号▶第7回国際競技大会・対抗戦▶巧者コーペン近藤を降す▶デルフス余裕の完勝▶連載＝小島一平、栂野尾悦子、われらのクラブ、分析シリーズ

◆**78年3月号**＝300円 ▶第7回国際競技大会・東京大会▶デルフス敗れる▶コーペンの貫禄勝ち▶脅威4メートルダブルス▶新星植野・米倉が誕生▶連載＝小島一平、栂野尾悦子、われらのクラブ、分析シリーズ（増ページ）

◆**78年5月号**＝300円 ▶第68回全英選手権大会特集▶リム・スイ・キン初優勝▶徳田・高田組が大金星▶世界の強豪たち（ハルトノ、ハンセン、ギルクス、コーペン他）▶現地取材のカラー写真多数収録▶連載＝小島一平、栂野尾悦子▶コラム（増ページ）

◆**別冊①◆ユーバー杯への道**＝1000円
Ａ5判128ページ、うちカラー16ページ、第7回ユーバー杯大会（ジャカルタ）全記録をはじめ、観戦記、奪還策等を満載。

◆**別冊②◆ヨーロッパ選手に見る実戦テクニック**＝500円　Ｂ5判48ページ、うちカラー4ページ。豊富な連続写真と詳しい解説、美しいグラフで構成したすぐ役立つもの。Ｓ・プリ、Ｆ・デルフス、Ｂ・フローマン、Ｍ・ロックウッド、チュンチュン、ワジュディらのプレーを小島、栂野尾、池田、銭谷、尾崎、飯野、土田、湯木、栂野尾（悦）がわかりやすく解説。

バックナンバー、別冊のお申込みは、他の用件とは別に、必ずハガキで下記あてお申し込みください。代金は、現品到着後、当方から同封の振替用紙で1週間以内にお振り込み願います。送料は当方で負担いたします。

〈申込先〉

〒155　東京都渋谷区神南1－1－1
岸記念体育会館内・**バドミントン界編集部**

（なお、発送は集中方式となりますので、2～3週間程度かかります。また、このリストの有効期限は昭和53年8月31日までです）

1978年度・大会日程カレンダー

▽国内大会

第28回全日本実業団バドミントン選手権大会（6月13日～18日・東京）

第29回全国高等学校バドミントン選手権大会（8月3日～8日・会津若松市）

第17回全日本教職員バドミントン選手権大会（8月10日～14日・仙台市）

第8回全国中学生バドミントン選手権大会（8月18日～20日・名古屋市）

第21回全日本社会人バドミントン選手権大会（8月26日～29日・大津市）

全日本バドミントンオールスターダブルス'78（9月10日・東京）

第33回国民体育大会バドミントン競技（10月16日～19日・塩尻市）

第29回全日本学生バドミントン選手権大会（10月16日～22日・名古屋市）

昭和53年度全日本総合バドミントン選手権大会・個人戦（11月14日～19日・東京）

昭和53年度全日本総合バドミントン選手権大会・団体戦（昭和54年2月17日～18日・東京）

第7回全国高等学校選抜バドミントン競技会（昭和54年3月）

▽国際大会（国内）

日韓高校バドミントン交歓競技大会（8月20日～25日・関東京浜地区）

第8回国際バドミントン競技大会（昭和54年1月中旬～下旬）

▽国際大会（国外）

第8回女子バドミントン世界選手権（ユーバー杯）大会アジア地区決勝戦（4月8日・クアラルンプール）

第3回アジア招待バドミントン競技大会（4月15日～25日・北京）

第8回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会（5月13日～20日・ニュージーランド・オークランド）

第8回アジア競技大会（12月9日～20日・バンコク）

第27回デンマークオープンバドミントン選手権大会（昭和54年3月7日～10日・コペンハーゲン）

第69回全英バドミントン選手権大会（昭和54年3月21日～24日・ウェンブレー）

編集室から

◆今月号より、ジュディ・ハッシュマン夫人の「スターティング・バドミントン」を、後藤忠弘さん、の訳でお送りいたします。全英選手権シングルスに10回優勝という大記録を持つ彼女が、果たしてどんなことを教えてくれるでしょうか？興味津々。また一つの楽しみが増えましたネ。

◆皆さんのご要望にお応えして、東西の学生選手権の模様をお伝えします。いかがですか。これからも大学選手にどしどし登場していただきます。大いに声援をお願いいたします。

◆幸先良い女子のユーバー杯奪還に続き、今度は男子のトマス杯予選（日本はオーストラレイシア・ゾーンに出場）が始まります。予選出場メンバーは、池田信孝選手（電電東京）、栂野尾昌一選手（ヨネックス）、銭谷欽治選手（カワサキ）、飯野佳孝選手（ヨネックス）、土田証雄選手（電電東京）、辻敏弘選手（ヨネックス）の以上6名です。ニュージーランド、オーストラリアを打ち破っての〝インターゾーン進出〟の朗報を早く耳にしたいものです。監督・板垣隆房氏、コーチ・秋山真男氏の手腕に期待したいものです。

◆8月は〝若人の祭典〟インターハイが、会津若松で開催されます。昨年の西山博司クン、原口恵子サンに次ぐヒーロー、ヒロインは誰でしょうか。原口サンは2年連続制覇の夢を賭けていますが、いかがなりますやら。

◆8月18日からは、名古屋市にて全国中学生大会が行なわれます。年々向上する〝大人顔負けのプレー〟にはビックリさせられます。ぜひ皆さんもご覧になったら。

バドミントン界　通巻第106号　1978年8月号　定価 300円

©1978　無断転載を禁ず

昭和53年8月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5－9525(バドミントン界編集部)

小島一平著

ガッツ・バドミントン

――限りなき挑戦　定価2000円（送料240円）

いよいよ刊行!!

- 豪華大型本：菊倍判変形（39.5cm×32.3cm）
- 総アート紙164ページ　うちカラー14ページ
- 収録写真約150点　連続写真11フォーム

●本書について

小島一平氏は、全日本総合選手権（オールジャパン）男子シングルスに5連勝を含む8回の優勝、同じくダブルスに4回の優勝をとげ、個人の事実上の世界選手権ともいうべき全英選手権で、単複ともに3位、デンマーク・オープンでは単複優勝という輝かしい実績を持っています。

その160センチという小柄な体に、ファイトをみなぎらせ、あらゆるシャトルに飛びつく姿は〝ガッツ〟の異名をとった。IBF（国際バドミントン連盟）のH・A・シェーラ氏は〝まるでゴムマリのようだ〟と、そのプレーを評している。

本書は小島一平氏が、どのようにバドミントンと取り組んできたかという半生記と、技術の向上に必要なことは何かを示す実戦アドバイス、そしてライバルを語る〝わがライバルたち〟から構成されており、さらに巻末には、資料として主要大会の詳細な記録と、競技規則、審判用語を加え、非常に内容の濃いものとなっています。

判型も菊倍判変形（39.5cm×32.3cm）と週刊誌よりふた回り大きくし、全ページアート紙使用の、見る楽しさも十分にそなえたものです。本文中には、銭谷、土田、中井、長谷川の各選手をはじめわが国を代表する多くの選手、海外からもルディ・ハルトノ、スヴェン・プリ、トーマス・キールストロムといった国際舞台で活躍をしている選手をはじめ、約150点の写真を収録しています。

さらにカラー口絵14ページには、今年度の全英選手権、デンマーク・オープンの写真を中心に美しいカラーページを構成しています。

全国有名スポーツ店でも販売中!!

●お申込み方法は

巻末はさみ込みの振替用紙の通信欄に「ガッツ・バドミントン申込み」と書いて、部数明記のうえ、1部定価2000円に送料240円を加えて、お近くの郵便局からお申し込みください。

また、全国の有名スポーツ店でも販売しておりますので、各店にご照会ください。

月刊「バドミントン界」8月号
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年8月15日発行（毎月1回15日発行通巻第106号）
発行所・東京都渋谷区神南1丁目1番地1号岸記念体育館内　日本バドミントン協会　定価300円



B-9300 Carbonex3

●スリー……¥7,500（フレーム・ケース付）



B-8300 Carbonex7

●セブン……¥7,700（フレーム・ケース付）

パワー時代のラケット。先進のカーボン。

フレームにウッドと特殊アルミ合金の違いはあっても、この2本どちらも今世界のコートで大活躍中。ヨネックス独自のカーボンラケットです。カーボンシャフトのすさまじい弾性が強力なスマッシュを生み出します。そのうえスウィートスポットがぐんと広がり、シャトルをとらえる性能も確実。世界の一流プレイヤー達がパワーバドミントンを目ざしている現在、これこそまさにうってつけのもの。カーボンならヨネックスです。

●日本初のこと－このラケットにはRとXの表示があります。Rはレギュラーでスナップ打法用。Xはエキスパートでフルスイング打法用です。

YONEX®